

# 佐賀支部の医療費等の動向

---

2018年度版（平成30年度）



全国健康保険協会 佐賀支部  
協会けんぽ

# 目次

1. 目次
2. 医療費に関連する指標
3. 佐賀支部の医療費と医療費の伸び率の推移
4. 協会けんぽ全体の医療費と医療費の伸び率の推移
5. 佐賀支部の1人当たり医療費と伸び率の推移
6. 協会けんぽ全体の1人当たり医療費と伸び率の推移
7. 佐賀支部の1人当たり医療費と全国平均との差
8. 支部別の30年度1人当たり医療費(全国平均との比較)
9. 支部別の30年度1人当たり入院医療費と医療費の3要素(全国平均との比較)
- 10.支部別の30年度1人当たり入院外医療費と医療費の3要素(全国平均との比較)
- 11.佐賀支部の30年度年齢構成・男女別1人当たり医療費(全国平均との差)
- 12.佐賀支部の30年度1人当たり医療費と医療費の3要素(全国平均との比較)
13. 30年度疾病分類別入院医療費の割合(佐賀支部と全国平均)
- 14.佐賀支部の30年度疾病分類別入院医療費(全国平均との比較)
15. 30年度疾病分類別入院外医療費の割合(佐賀支部と全国平均)
- 16.佐賀支部の30年度疾病分類別入院外医療費の割合(全国平均との比較)
- 17.支部別の30年度「糖尿病」 1人当たり入院外(調剤含む)医療費(全国平均との差)
- 18.支部別の30年度「高血圧」 1人当たり入院外(調剤含む)医療費(全国平均との差)
- 19.支部別の30年度「高脂血症」 1人当たり入院外(調剤含む)医療費(全国平均との差)
- 20.地域差指数の年齢階級別内訳(佐賀支部と新潟支部の比較)
- 21.年齢階級別1人当たり医療費の全国平均との乖離率及び診療種別寄与度分解(佐賀支部と新潟支部の比較)
- 22.佐賀支部加入者数(扶養率・年齢階級別・男女別・市町別・二次医療圏別)
- 23.市町別/二次医療圏別1人当たり医療費と3要素分解
- 24.医療提供体制(佐賀支部と全国との比較・全国順位)
- 25.市町別健診受診率の経年比較
- 26.佐賀支部加入事業所の業態健診受診率の経年比較
- 27.市町別ジェネリック医薬品使用割合(薬局所在地ベース)
- 28.まとめ

## ～医療費統計に関連する指標について～

○医療保険に関する統計は、基本的に、医療機関が作成するレセプト(診療報酬明細書)を集計した「件数」、「日数」、「点数」をもとに作成されています(「レセプト統計」)。レセプトは、患者1人につき1つの医療機関で毎月1枚作成することになっています。そのレセプトの枚数をカウントしたものを「件数」、レセプトに記載された診療実日数(同一の医療機関に通った(または、入院した)日数)を合計したものを「日数」、また、レセプトに記載された診療報酬の点数を合計したものを「点数」といい、「点数」は1点=10円として医療費に換算されます。

○受診率は、一定期間内に医療機関にかかった人の割合を表す指標です。したがってある地域で受診率が全国平均よりも高いということは、医療機関にかかる者の割合が高いということであり、受診率の伸び率が高いということは医療機関にかかる者の割合が増えているということです。

○1件当たり日数は、1つの疾病の治療のために医療機関に通った日数(または、入院した日数)を表し、診療実日数をレセプト件数で割ったものです。疾病の治療期間が長期にわたっていても、月が変わるとレセプトも新たに作られるので、1件当たり日数は必ずしも初診日からの治療日数や入院期間の累計を表すものではありません。しかし、入院の1件当たり日数が多ければ、概ね入院期間が長く、入院外の1件当たり日数が多ければ、通院頻度が高いものと考えられます。

○1日当たり医療費は、医療費の単価を表し、診療費を診療実日数で割ったものです。1日当たり医療費が高いということは、1回の診療あるいは1日の入院でかかる費用が高いということです。

## ～医療費統計に関する計算式～

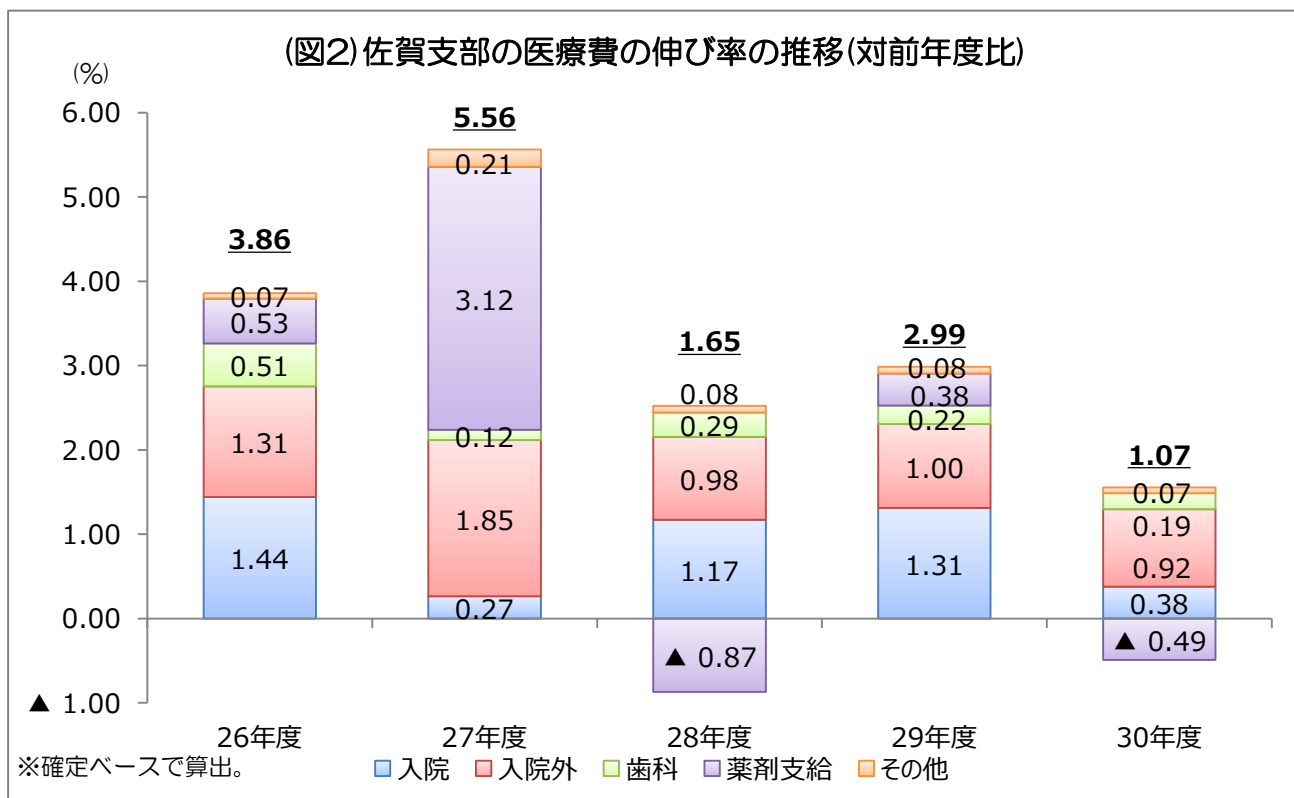
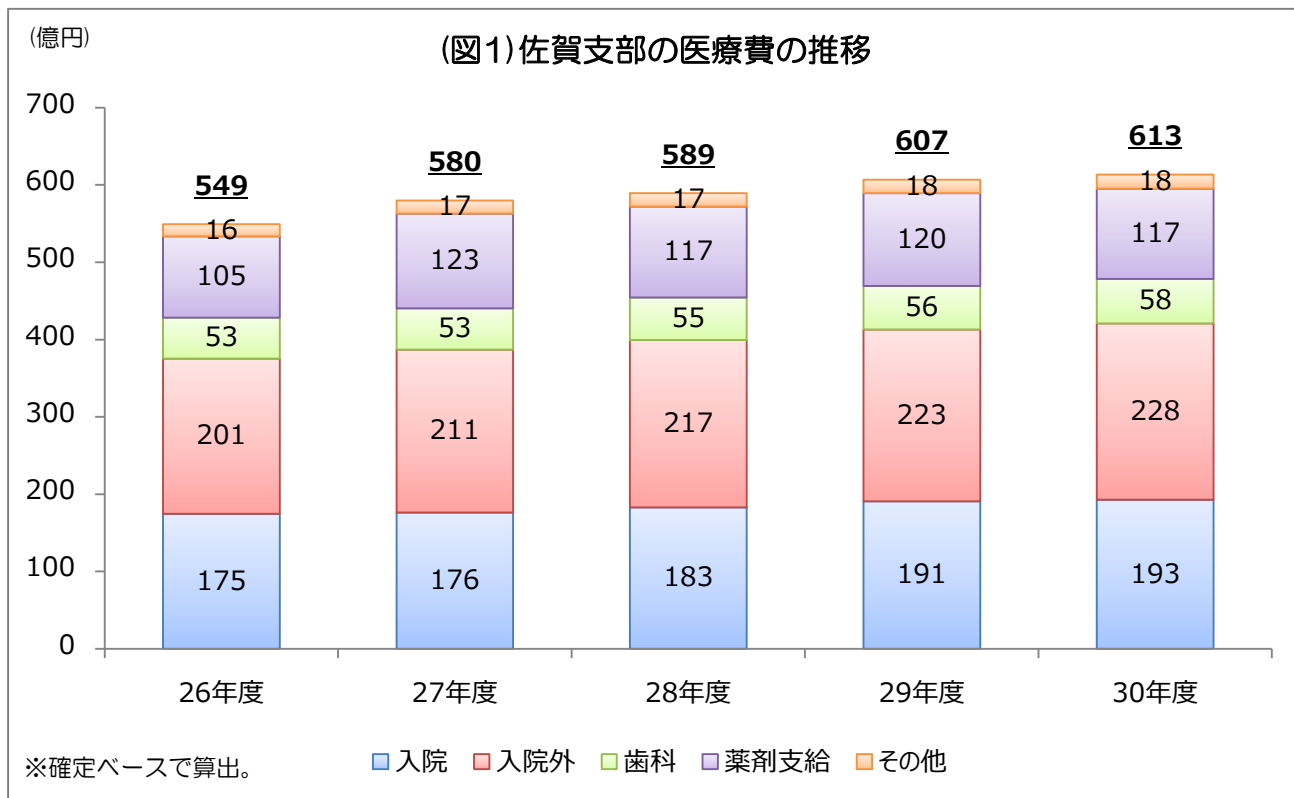
- ・医療費=1人当たり医療費×人数
- ・1人当たり医療費=医療費/人数
- ・1人当たり医療費=受診率×1件当たり日数×1日当たり医療費(医療費の3要素)
  - ・受診率=件数/人数(単位は件/千人)
  - ・1件当たり日数=日数/件数
  - ・1日当たり医療費=医療費/日数

### 【留意事項】

- ・医療費の数値は、社会保険診療報酬支払基金集計の数値(確定ベース)を公表値としているが、協会けんぽが分析用に独自に集計した数値(算定ベース)を用いる場合もある。確定ベースの数値は、レセプト査定分を考慮しているため、両者の数値は必ずしも一致しない。
- ・医療費は、診療費(入院、入院外、歯科)・薬剤支給・入院時食事療養・生活療養費(標準負担額差額支給を除く)・訪問看護療養費・療養費等の集計値である。なお、算定ベースの入院外には調剤分が含まれる。
- ・各年度の1人当たり医療費等は、各年度の総医療費を各年度の平均加入者数で割ったものである。
- ・疾病分類コードは、レセプトに主傷病フラグがある場合はその疾病を、主傷病フラグがない場合はレセプトの記載順で先頭の疾病をもとに抽出してある。

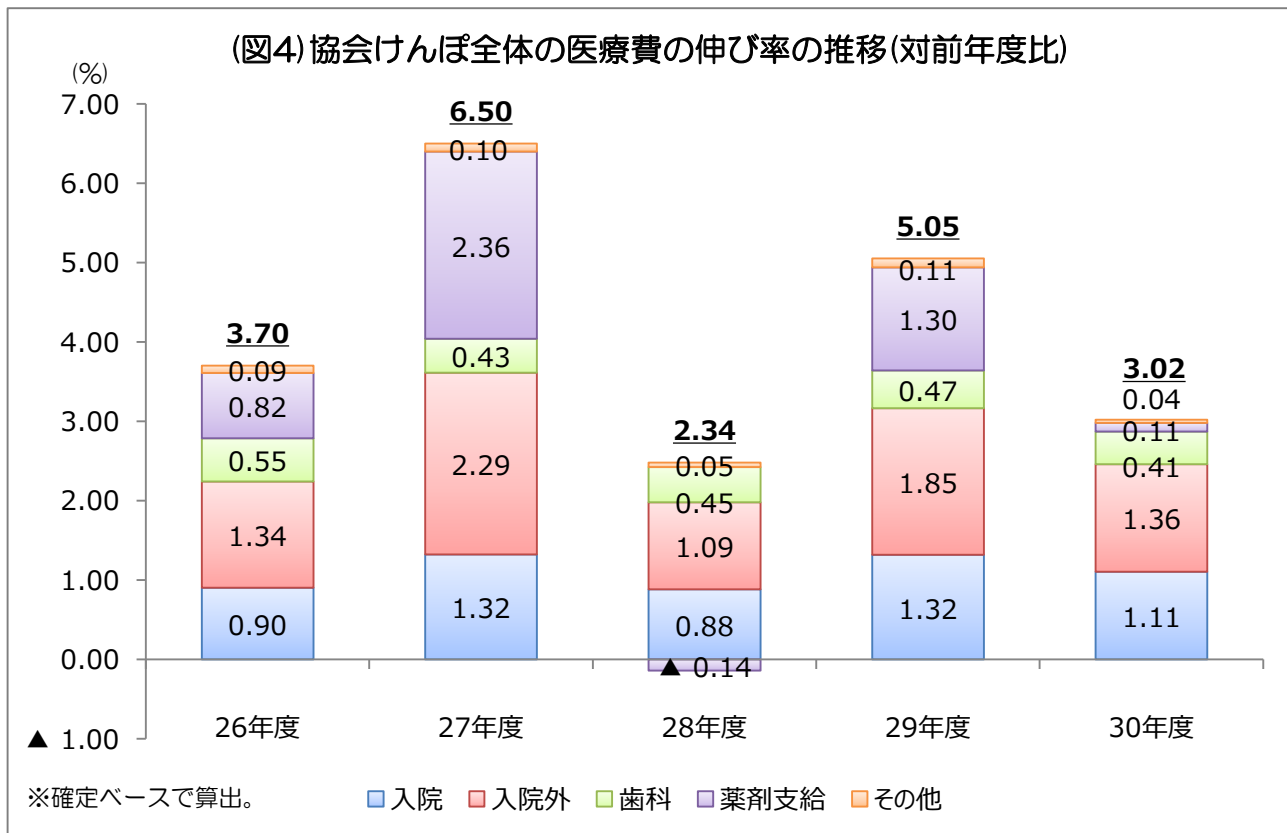
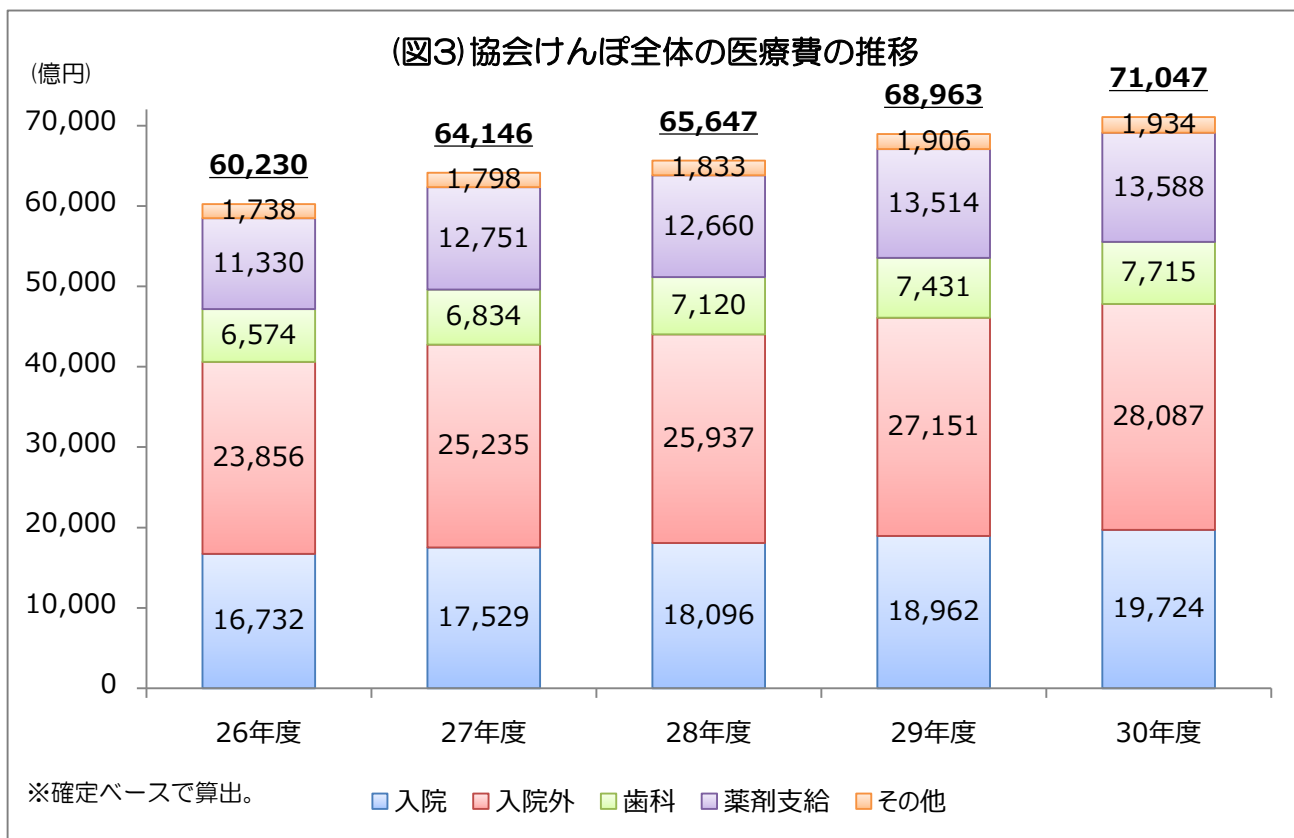
# 佐賀支部の医療費と医療費の伸び率の推移

30年度の佐賀支部の医療費は、約613億円となっており、前年度より約6億円増加しました。増加の主な内訳は、入院が約2億円、入院外が約5億円であり、薬剤支給は約3億円減少しています。薬剤支給の減少は、診療報酬の改定(薬価の引き下げ)の実施が影響しているものと思われます。(図1) 30年度の佐賀支部の医療費の伸び率は、対前年度比+1.07%であり、その主な内訳は、入院が+0.38%、入院外が+0.92%、歯科が+0.19%、薬剤支給が-0.49%です。26年度の佐賀支部の医療費の伸び率は、協会全体の医療費の伸び率を上回っていましたが、27年度以降は下回っています。(図2)(図4)



# 協会けんぽ全体の医療費と医療費の伸び率の推移

30年度の協会けんぽ全体の医療費は、約7兆円となっており、前年度より約3%(2千億円)増加しました。増加の主な内訳は、入院・入院外ともに約1千億円です。(図3)(図4)

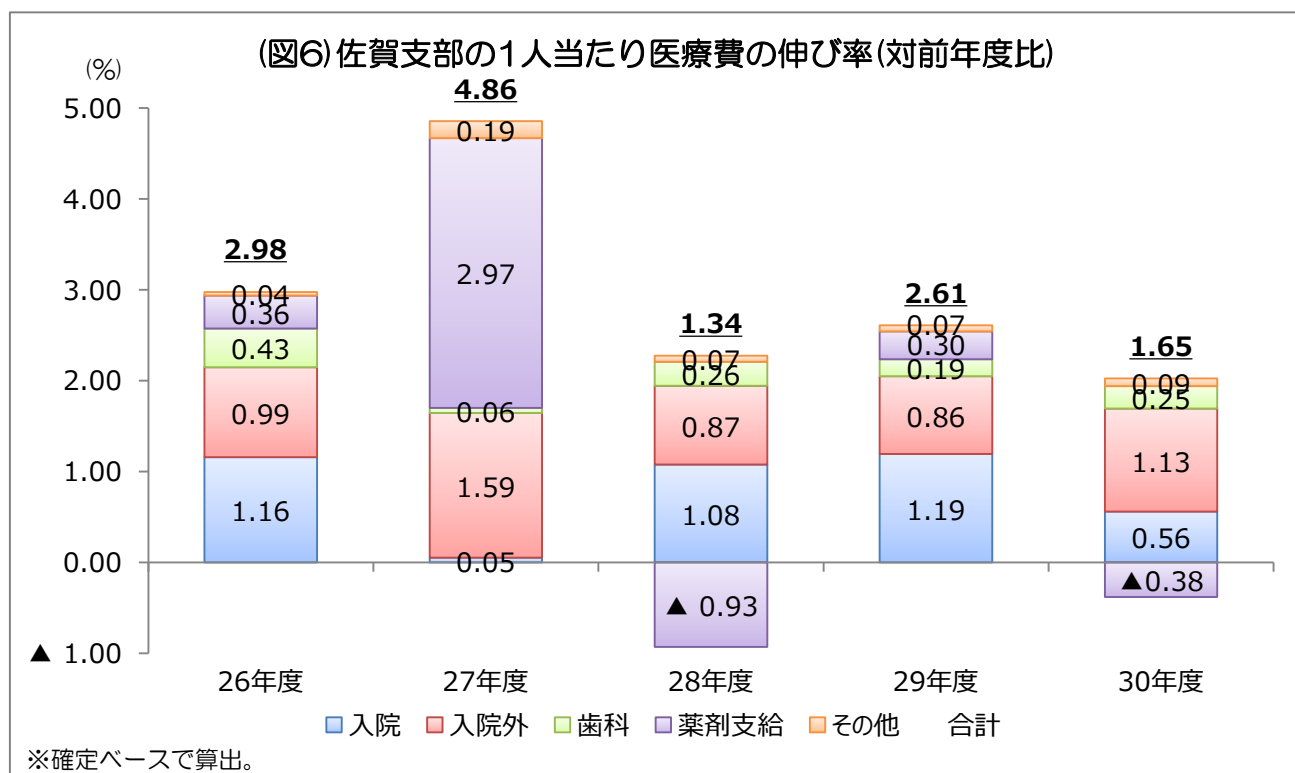
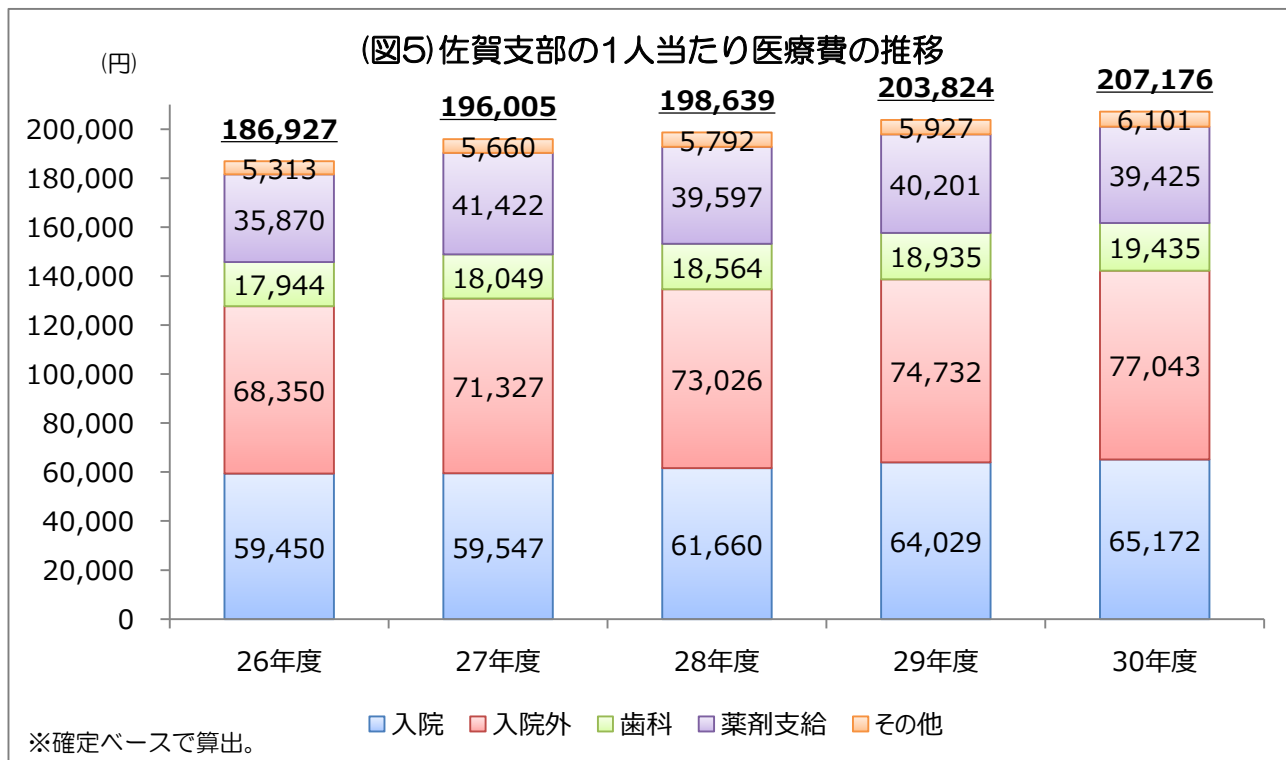


# 佐賀支部の1人当たり医療費と伸び率の推移

佐賀支部の30年度1人当たり医療費は207,176円で、前年度より3,352円増加しました。

内訳は、入院が65,172円(対前年度比+1,143円)、入院外が77,043円(対前年度比+2,311円)、歯科が19,435円(対前年度比+500円)、薬剤支給が39,425円(対前年度比-776円)、その他が6,101円(対前年度比+174円)です。(図5)

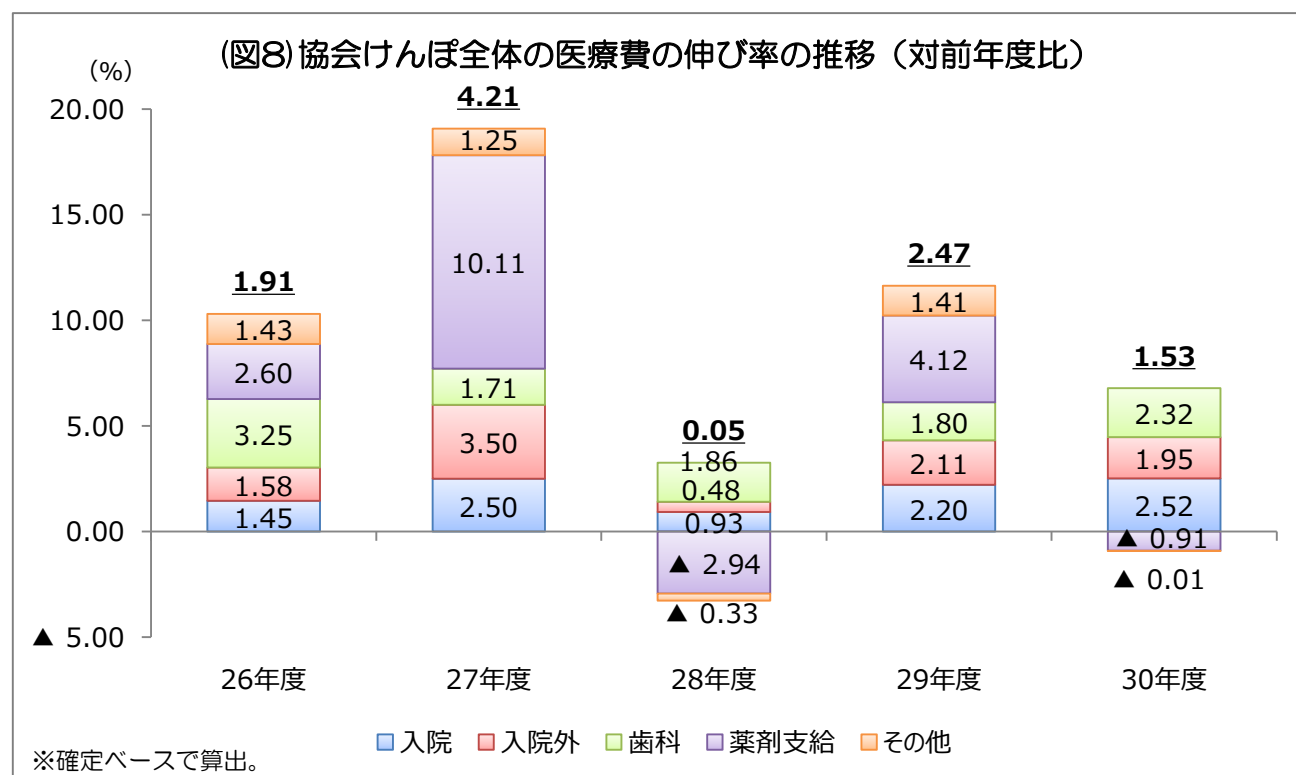
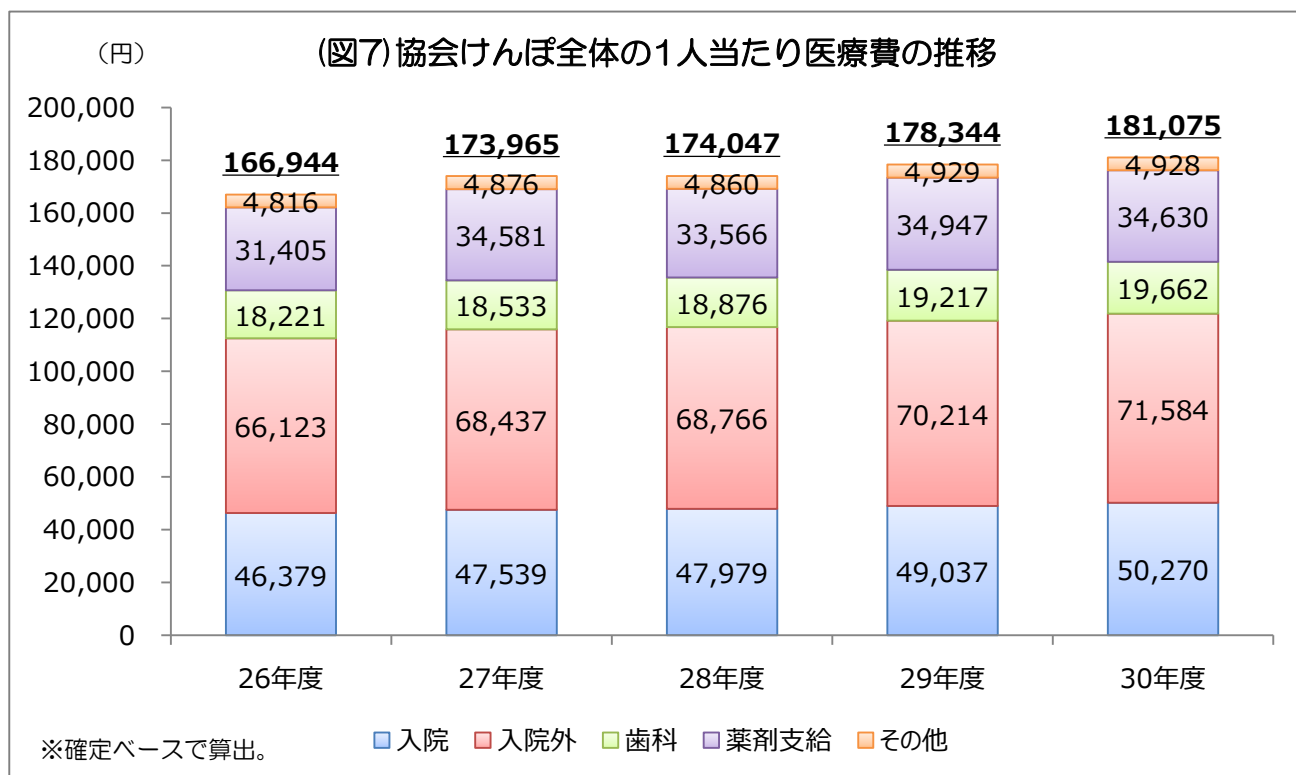
30年度の伸び率については、対前年度比+1.65%です。内訳は、入院が+0.56%、入院外が+1.13%、歯科が+0.25%、薬剤支給が-0.38%です。診療報酬の改定(薬価の引き下げ)の実施が影響しているものと思われます。(図6)



# 協会けんぽ全体の1人当たり医療費と伸び率の推移

協会けんぽ全体の30年度1人当たり医療費は181,075円で、前年度より2,731円増加しました。内訳は、入院が50,270円(対前年度比+1,233円)、入院外が71,584円(対前年度比+1,370円)、歯科が19,662円(対前年度比+445円)、薬剤支給が34,630円(対前年度比-317円)、その他が4,928円(対前年度比-1円)です。(図7)

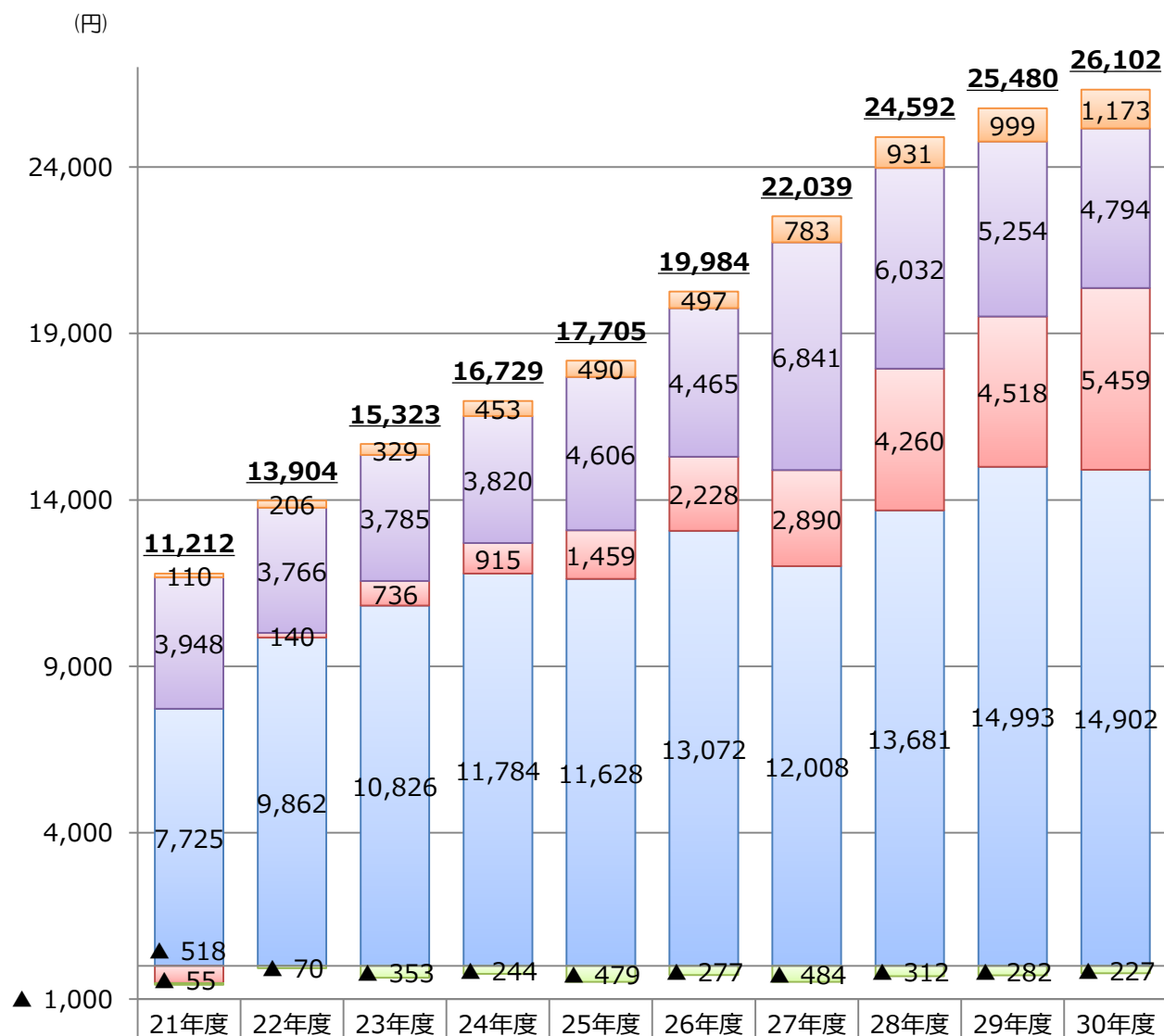
30年度の伸び率については、対前年度比+1.53%です。内訳は、入院が+2.52%、入院外が+1.95%、歯科が+2.32%、薬剤支給が-0.91%です。診療報酬の改定(薬価の引き下げ)の実施が影響しているものと思われます。(図8)



# 佐賀支部の1人当たり医療費と全国平均との差

佐賀支部の1人当たり医療費を全国平均と比較すると、その差は年々拡大傾向にあります。入院支給が▲91円、薬剤支給が▲460円と縮小しましたが、入院外が+941円となった影響で、医療費全体をみると26,102円の差が生じました。(図9)

(図9) 1人当たり医療費における佐賀支部と全国平均との差



※確定ベースで算出。

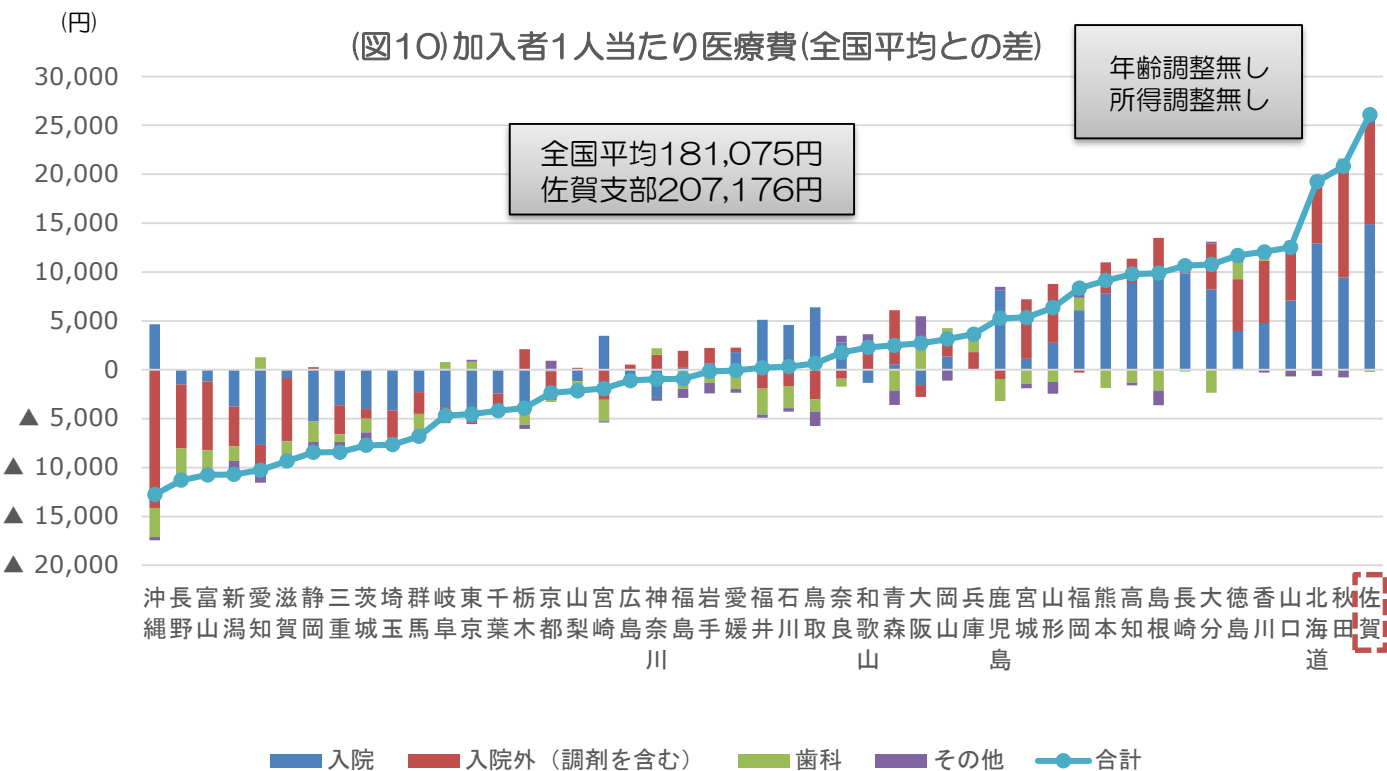
■ 入院 ■ 入院外 ■ 歯科 ■ 薬剤支給 ■ その他



# 支部別の30年度1人当たり医療費(全国平均との比較)

平成30年度の加入者1人当たり医療費の全国平均との差を都道府県別にみると、佐賀支部は1人当たり医療費が最も高く、全国平均の181,075円よりも26,102円高くなっています。その内訳は入院が+14,902円、入院外が+10,254円、歯科が▲227円、その他が+1,173円となっている。

一方、1人当たり医療費が最も低い支部は沖縄支部で、全国平均より12,767円低く、佐賀支部との1人当たり医療費の差は38,868円となっています。(図10)



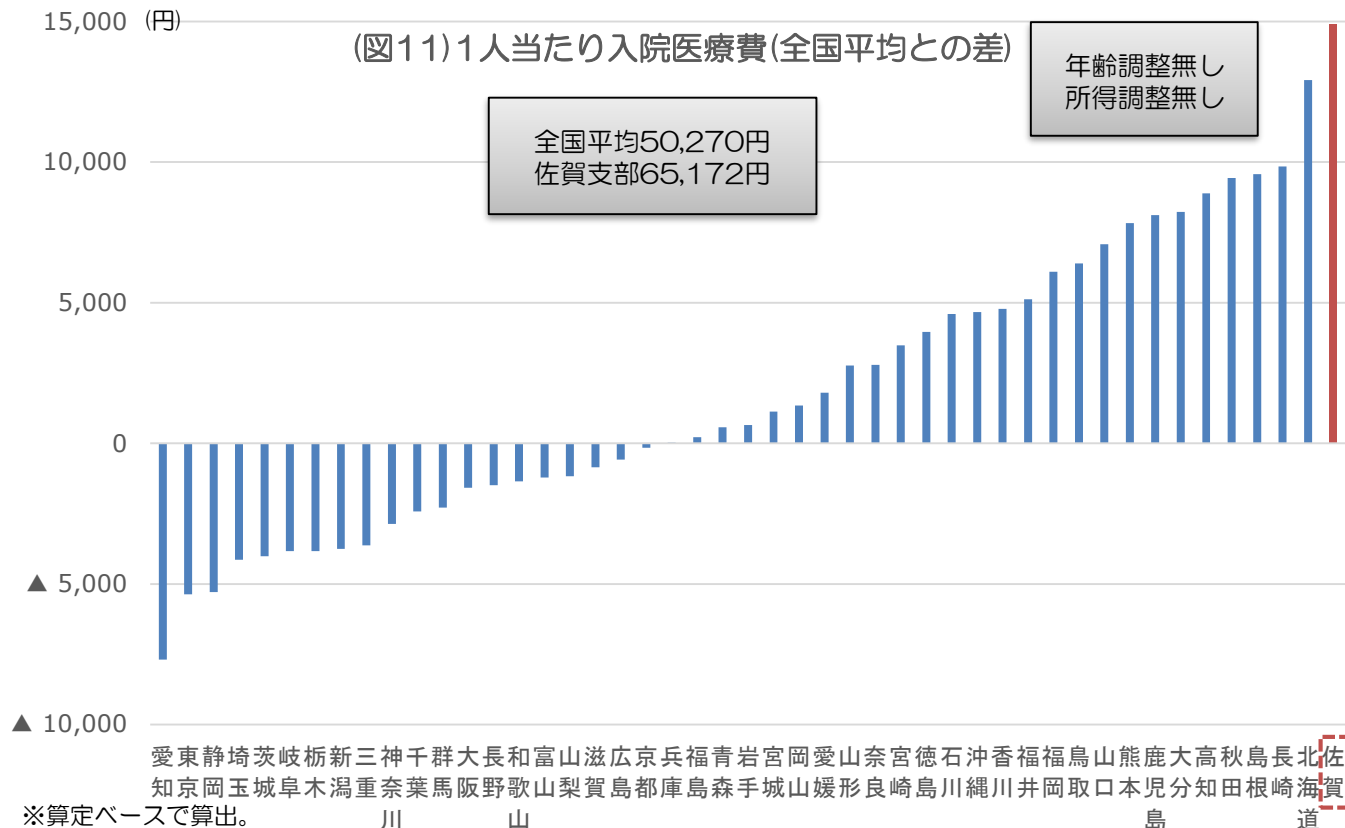
※確定ベースで算出。

1人当たり医療費が高い支部			1人当たり入院医療費が高い支部			1人当たり入院外医療費が高い支部		
1	佐賀	207,176円	1	佐賀	65,172円	1	秋田	118,297円
2	秋田	201,895円	2	北海道	63,192円	2	佐賀	116,468円
3	北海道	200,328円	3	長崎	60,120円	3	香川	112,594円
4	山口	193,592円	4	島根	59,845円	4	山口	112,345円
5	香川	193,135円	5	秋田	59,700円	5	北海道	112,323円
6	徳島	192,780円	6	高知	59,156円	6	宮城	112,299円
7	大分	191,844円	7	大分	58,502円	7	山形	112,225円
8	長崎	191,730円	8	鹿児島	58,391円	8	青森	111,752円
9	島根	190,953円	9	熊本	58,107円	9	徳島	111,538円
10	高知	190,855円	10	山口	57,346円	10	大分	110,889円
47	沖縄	168,308円	47	愛知	42,587円	47	沖縄	92,078円
全国平均		181,075円	全国平均		50,270円	全国平均		106,214円

# 支部別の30年度1人当たり入院医療費と医療費の3要素(全国平均との比較)

平成30年度の加入者1人当たり入院医療費の全国平均との差を都道府県別にみると、佐賀支部は1人当たり入院医療費が最も高く、全国平均の50,270円よりも14,902円高くなっています。

一方、1人当たり医療費が最も低い支部は愛知支部で、全国平均より7,683円低く、佐賀支部との1人当たり入院医療費の差は22,585円となっています。(図11)



入院受診率について、1人当たり入院医療費の分布と同じような傾向となっており、九州地方については、高い傾向となっています。

1件当たり入院日数について、東北・九州地方で多い傾向となっています。

1日当たり入院医療費について、関東・近畿地方で高くなっています。1件当たり入院日数と負の相関関係にあり、日数が多い県は1日当たり入院医療費が低い傾向となっています。

入院受診率が高い支部		
1	佐賀	129.92
2	大分	128.26
3	長崎	127.16
4	鹿児島	121.82
5	北海道	121.30
6	熊本	121.24
7	高知	115.28
8	秋田	115.22
9	島根	113.70
10	宮崎	111.53
47	静岡	84.55
全国平均		98.46

1件当たり入院日数		
1	佐賀	11.19日
2	秋田	11.02日
3	山口	10.87日
4	高知	10.65日
5	熊本	10.57日
6	岩手	10.55日
7	山形	10.49日
8	宮崎	10.48日
9	福井	10.41日
10	島根	10.39日
47	愛知	8.86日
全国平均		9.68日

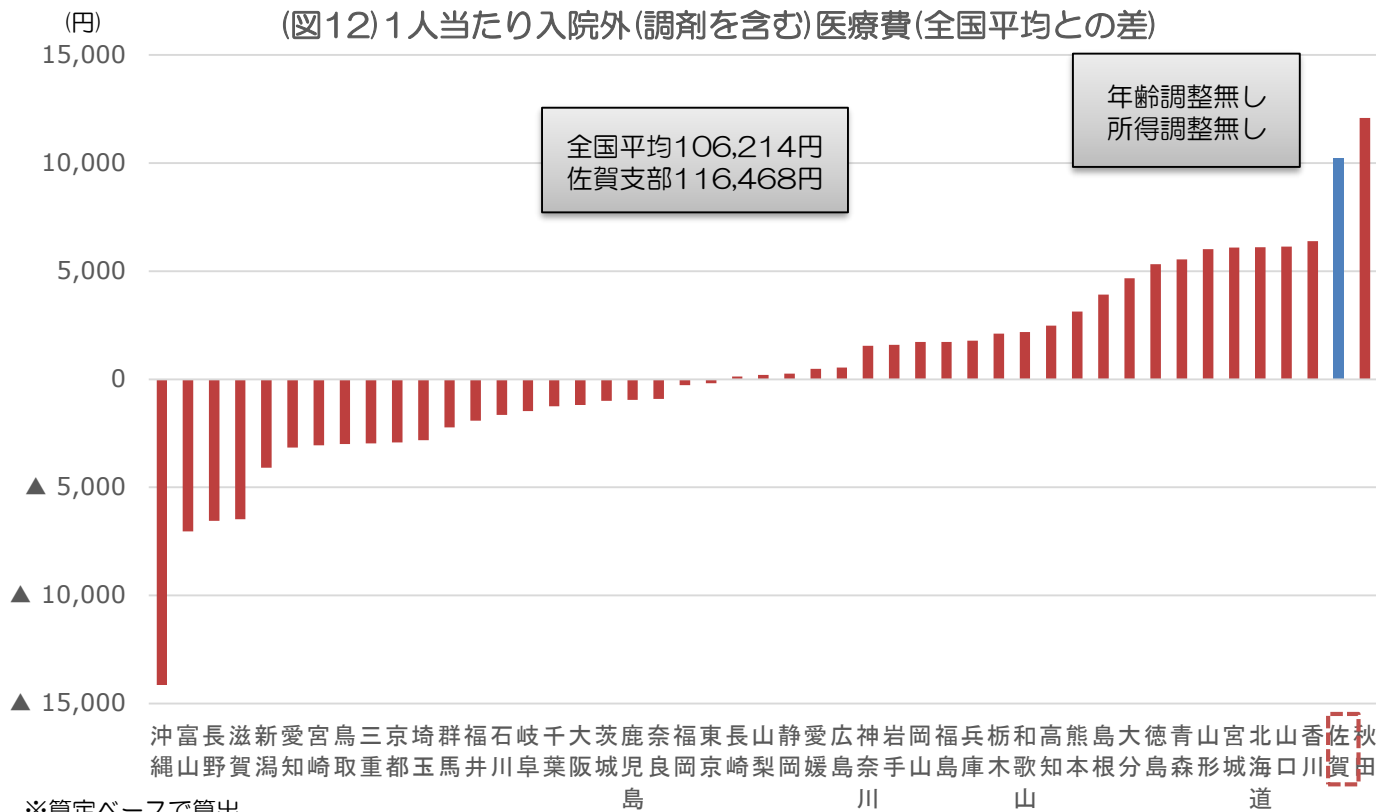
1日当たり入院医療費が「高い」支部		
1	神奈川	57,932円
2	東京	57,726円
3	京都	57,131円
4	大阪	56,708円
5	千葉	56,277円
6	愛知	55,872円
7	静岡	55,779円
8	滋賀	55,537円
9	兵庫	55,084円
10	埼玉	54,834円
47	佐賀	44,822円
全国平均		52,738円

# 支部別の30年度1人当たり入院外医療費と医療費の3要素(全国平均との比較)

平成30年度の加入者1人当たり入院外(調剤を含む)医療費の全国平均との差を都道府県別にみると、佐賀支部は1人当たり入院医療費が秋田支部に次いで二番目に高く、全国平均の106,214円よりも10,254円高くなっています。

一方、1人当たり医療費が最も低い支部は沖縄支部で、全国平均より14,136円低く、佐賀支部との1人当たり入院外(調剤を含む)医療費の差は24,390円となっています。(図12)

(図12) 1人当たり入院外(調剤を含む)医療費(全国平均との差)



※算定ベースで算出。

入院外受診率について、主に関東近郊以外の地域が高い傾向となっています。九州では、佐賀、熊本、が高くなっています。

1件当たり入院外日数について、西日本で多い傾向となっています。特に、佐賀、福岡が多くなっています。また、東日本は少ない傾向にあります。

1日当たり入院外医療費について、東北地方が高い傾向となっています。1件当たり入院外日数と負の相関関係にあり、日数が少ないと、1日当たり入院外医療費が高い傾向となっています。

入院外受診率が高い支部		
1	山形	6,883.3
2	徳島	6,784.0
3	佐賀	6,773.3
4	熊本	6,729.7
5	山口	6,724.7
6	和歌山	6,723.1
7	秋田	6,673.2
8	島根	6,645.0
9	香川	6,636.4
10	宮城	6,544.2
47	沖縄	5,338.7
全国平均		6270.1

1件当たり入院外日数		
1	佐賀	1.53日
2	福岡	1.49日
3	香川	1.46日
4	愛媛	1.46日
5	広島	1.46日
6	大阪	1.45日
7	岐阜	1.45日
8	愛知	1.45日
9	長崎	1.44日
10	宮崎	1.44日
47	新潟	1.35日
全国平均		1.42日

1日当たり入院外医療費が高い支部		
1	北海道	13,902円
2	秋田	13,075円
3	岩手	12,700円
4	茨城	12,684円
5	千葉	12,634円
6	宮城	12,598円
7	沖縄	12,439円
8	長野	12,379円
9	福島	12,374円
45	佐賀	11,245円
47	福岡	11,111円
全国平均		11,936円

## 佐賀支部の30年度年齢構成・男女別1人当たり医療費(全国平均との比較)

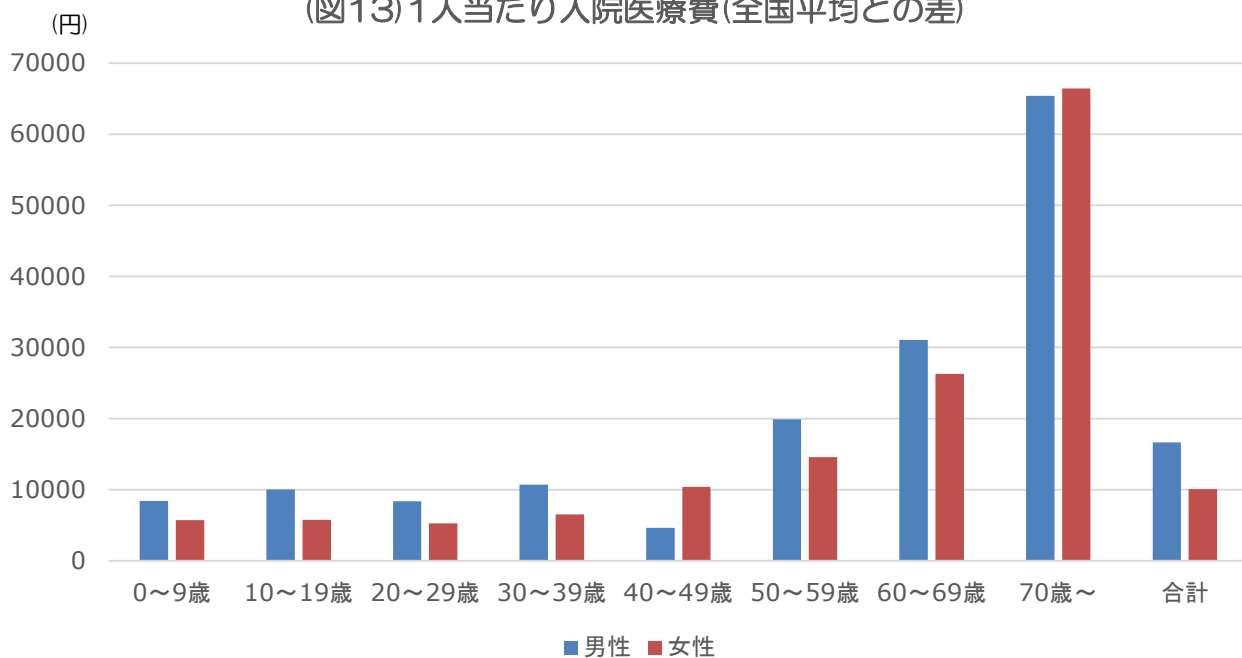
平成30年度の加入者1人当たり入院医療費・入院外医療費を年齢構成別・男女別にみると、男性・10～19歳の入院外を除き、全国平均を上回っています。年齢構成からみると、年齢が高くなるにつれ、差も大きくなる傾向にあります。特に50歳以上から差が大きくなっており、70歳～の入院医療費について男性は全国で2番目の高さ、女性は全国で1番目の高さとなっています。

また、突出しているのが、女性・70歳～入院外医療費です。男女ともに70歳～入院外医療費は全国で1番目の高さですが、男女差があります。

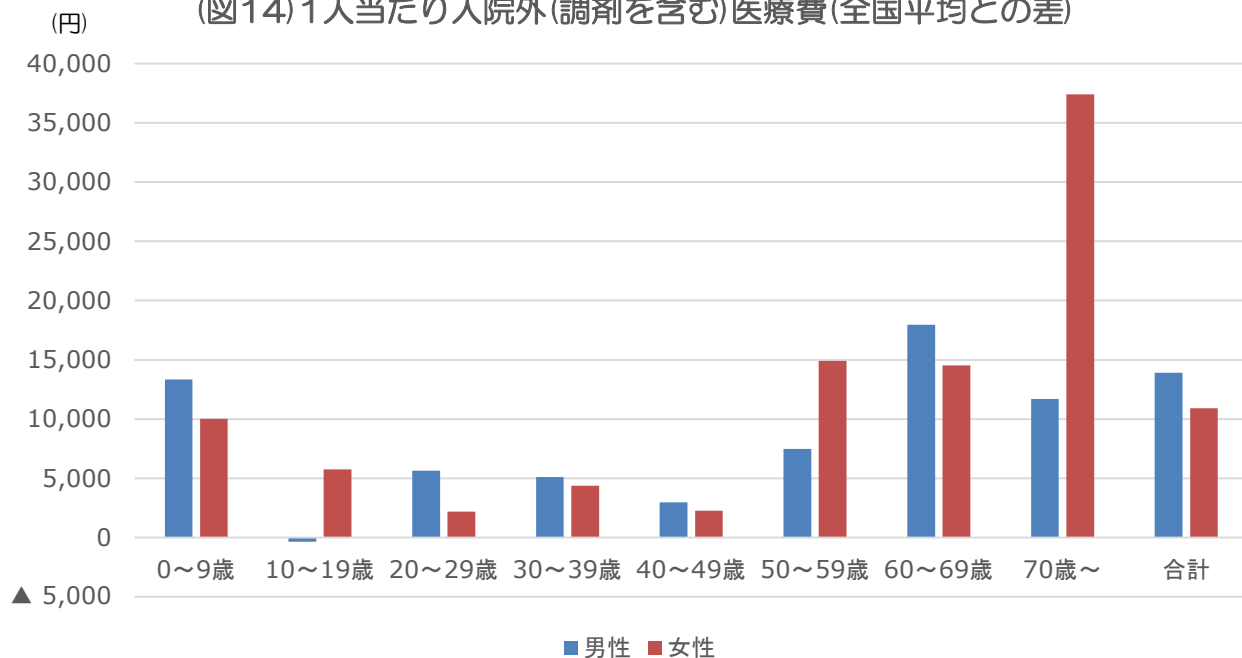
その原因を分析すると、受診率は男性が全国6番目、女性は全国1番目に高く、1件当たり日数は男女共に全国で1番目の多さとなっており、負の相関関係にある1日当たり医療費が男性47番目、女性が全国で45番目の高さとなっています。

また、1件当たり医療費が男性は全国で40番目の高さですが、女性が全国で17番目の高さであることが要因であると考えられます。(図13)(図14)

(図13) 1人当たり入院医療費(全国平均との差)



(図14) 1人当たり入院外(調剤を含む)医療費(全国平均との差)



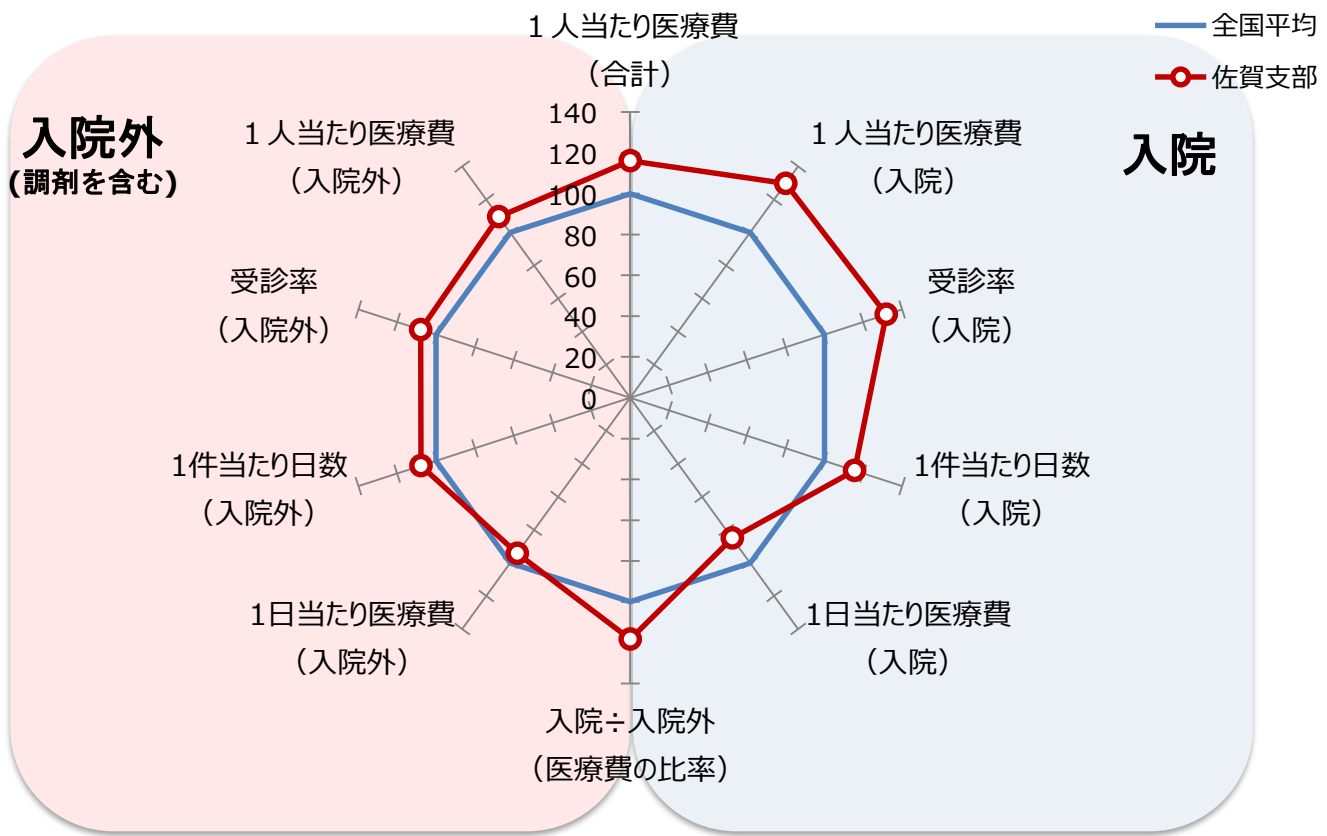
# 佐賀支部の30年度1人当たり医療費と医療費の3要素(全国平均との比較)

佐賀支部の30年度1人当たり医療費と3要素について、全国平均を100とした場合、入院の比率(医療費の比率)および入院受診率が高くなっています。また、入院の1件当たり日数と1日当たり医療費は、負の相関関係となっています。

佐賀支部の医療費が全国平均と比較して高い要因は、入院医療費の高さと、入院外医療費の伸びにあります。さらに、入院医療費が高い要因は、多くの人と同じ医療機関に長期にわたって受診する(受診率の高さと1件当たり日数が多い)ことであると考えられます。(図15)

30年度1人当たり医療費の伸び率については、入院(+0.64%)・入院外(+0.86%)ともに増加し+1.50%の伸びとなりました。(図16)

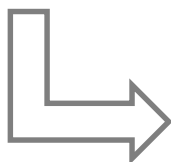
(図15) 1人当たり医療費に関するレーダーチャート(全国平均を100とした場合)



(図16) 佐賀支部の30年度1人当たり医療の3要素分解(対前年度比)

	1人当たり医療費	入院外			入院		
		受診率 (件/千人)	1件当たり日数 (日/件)	1日当たり医療費 (円/日)	受診率 (件/千人)	1件当たり日数 (日/件)	1日当たり医療費 (円/日)
29年度	178,962円	6675.61	1.55	11,097	128.59	11.27	44,189
30年度	181,640円	6773.31	1.53	11,245	129.92	11.19	44,822

1.50%の伸び



	入院外の影響分	入院の影響分
受診率の要素の影響分	0.94%	0.37%
1件当たり日数の要素の影響分	-0.94%	-0.24%
1日当たり医療費の要素の影響分	0.86%	0.51%
1人当たり医療費	0.86%	0.64%

## 30年度疾病分類別入院医療費の割合(佐賀支部と全国平均)

佐賀支部の30年度入院医療費を疾病分類別にみると、上位4疾病が全体の約半数を占めています。

また、全国平均と比較すると、「新生物」、「循環器系の疾患」、「消化器系の疾患」などの割合は低く、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「神経系の疾患」、「精神及び行動の障害」、などの割合が高くなっています。(図17)

(図17)30年度疾病分類別入院医療費の割合(佐賀支部と全国平均)

※算定ベースで算出。

疾病名	疾病分類別割合 (佐賀)	疾病分類別割合 (全国)
新生物	21.6%	23.3%
循環器系の疾患	16.0%	18.4%
損傷、中毒及びその他の外因の影響	8.8%	7.4%
筋骨格系及び結合組織の疾患	8.0%	7.9%
消化器系の疾患	6.9%	7.2%
神経系の疾患	6.3%	4.6%
精神及び行動の障害	6.1%	3.9%
呼吸器系の疾患	4.8%	4.9%
周産期に発生した病態	3.6%	3.4%
腎尿路生殖器系の疾患	3.6%	3.7%
妊娠、分娩及び産じょく	3.5%	4.1%
先天奇形、変形及び染色体異常	2.4%	2.8%
内分泌、栄養及び代謝疾患	2.3%	2.1%
感染症及び寄生虫症	1.5%	1.6%
眼及び付属器の疾患	1.4%	1.8%
血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	1.2%	0.8%
皮膚及び皮下組織の疾患	0.7%	0.7%
耳及び乳様突起の疾患	0.6%	0.6%
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	0.5%	0.6%
(再掲)生活習慣病	11.6%	12.0%

全国平均と比較し、割合が高い疾病分類別割合を赤字で表示

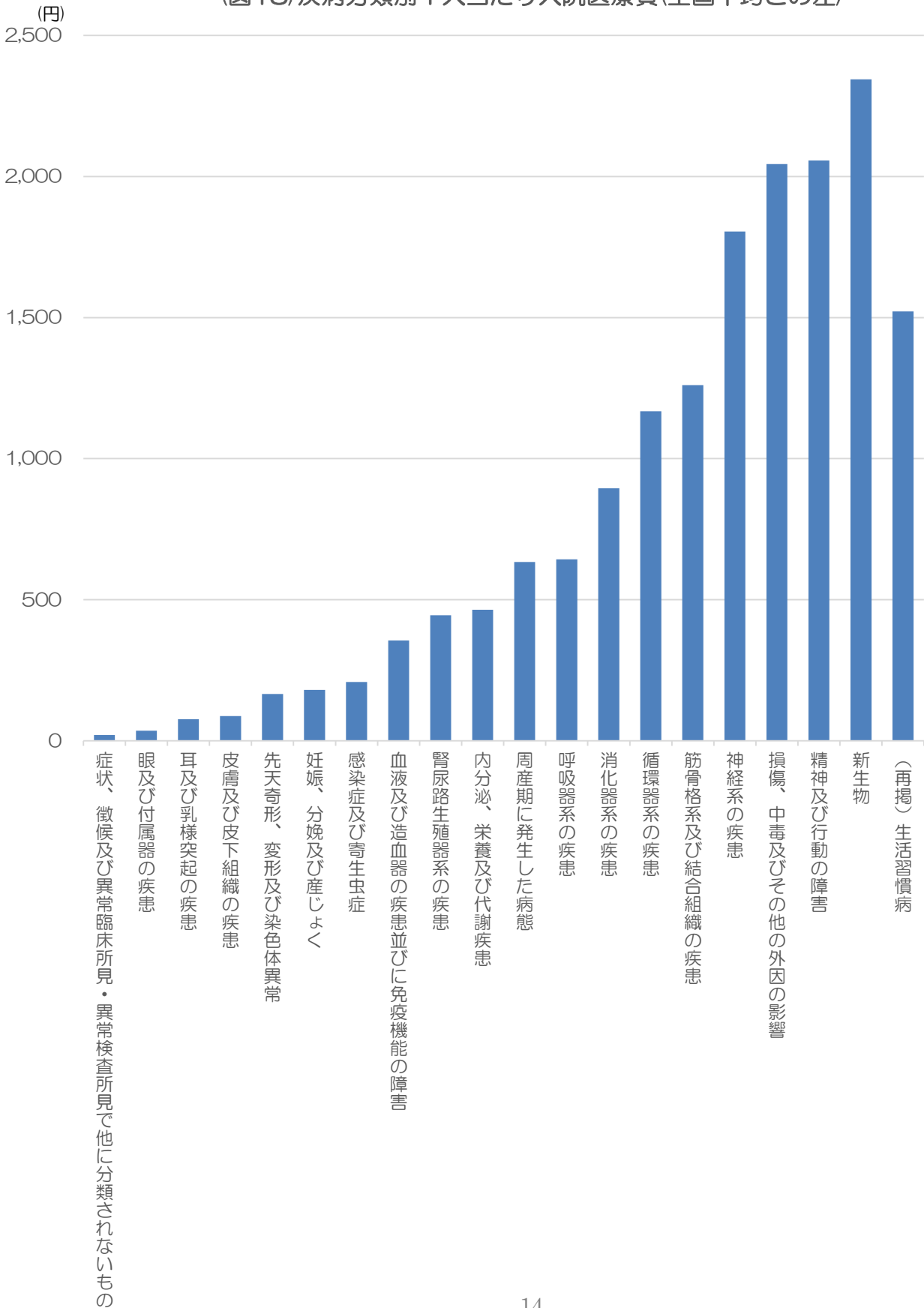
(再掲)生活習慣病は、内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、脂質異常症)、循環器系疾患(高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化(症)、その他の脳血管疾患)に該当するものを分類している。

# 佐賀支部の30年度疾病分類別入院医療費(全国平均との比較)

佐賀支部の30年度疾病分類別1人当たり入院医療費の全国平均との差をみると、全ての疾病分類において全国平均を上回り、入院医療費の割合としても最も高い「新生物」が全国平均との差が最も大きくなっています。(図17)(図18)

※算定ベースで算出。

(図18) 疾病分類別1人当たり入院医療費(全国平均との差)





# 30年度疾病分類別入院外医療費の割合(佐賀支部と全国平均)

佐賀支部の30年度入院外医療費を疾病分類別にみると、上位4疾病が全体の約半数を占めています。また、全国平均と比較すると、「呼吸器系の疾患」、「新生物」などの割合は低く、「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「感染症及び寄生虫症」などの割合が高くなっています。(図19)

(図19)30年度疾病分類別入院外医療費の割合(佐賀支部と全国平均の比較)

※算定ベースで算出。

疾病名	疾病分類別割合 (佐賀)	疾病分類別割合 (全国)
呼吸器系の疾患	14.8%	15.1%
循環器系の疾患	13.2%	12.2%
内分泌、栄養及び代謝疾患	11.9%	11.3%
新生物	9.1%	9.5%
筋骨格系及び結合組織の疾患	7.5%	7.9%
腎尿路生殖器系の疾患	6.7%	6.9%
消化器系の疾患	5.6%	6.2%
皮膚及び皮下組織の疾患	5.4%	5.7%
精神及び行動の障害	4.8%	4.9%
感染症及び寄生虫症	4.7%	4.0%
眼及び付属器の疾患	4.5%	4.5%
損傷、中毒及びその他の外因の影響	3.1%	2.7%
神経系の疾患	2.8%	3.1%
血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	1.7%	1.5%
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1.5%	1.8%
耳及び乳様突起の疾患	1.3%	1.3%
先天奇形、変形及び染色体異常	0.8%	0.7%
周産期に発生した病態	0.3%	0.3%
妊娠、分娩及び産じょく	0.2%	0.3%
(再掲)生活習慣病	21.3%	19.1%

全国平均と比較し、割合が高い疾病分類別割合を赤字で表示

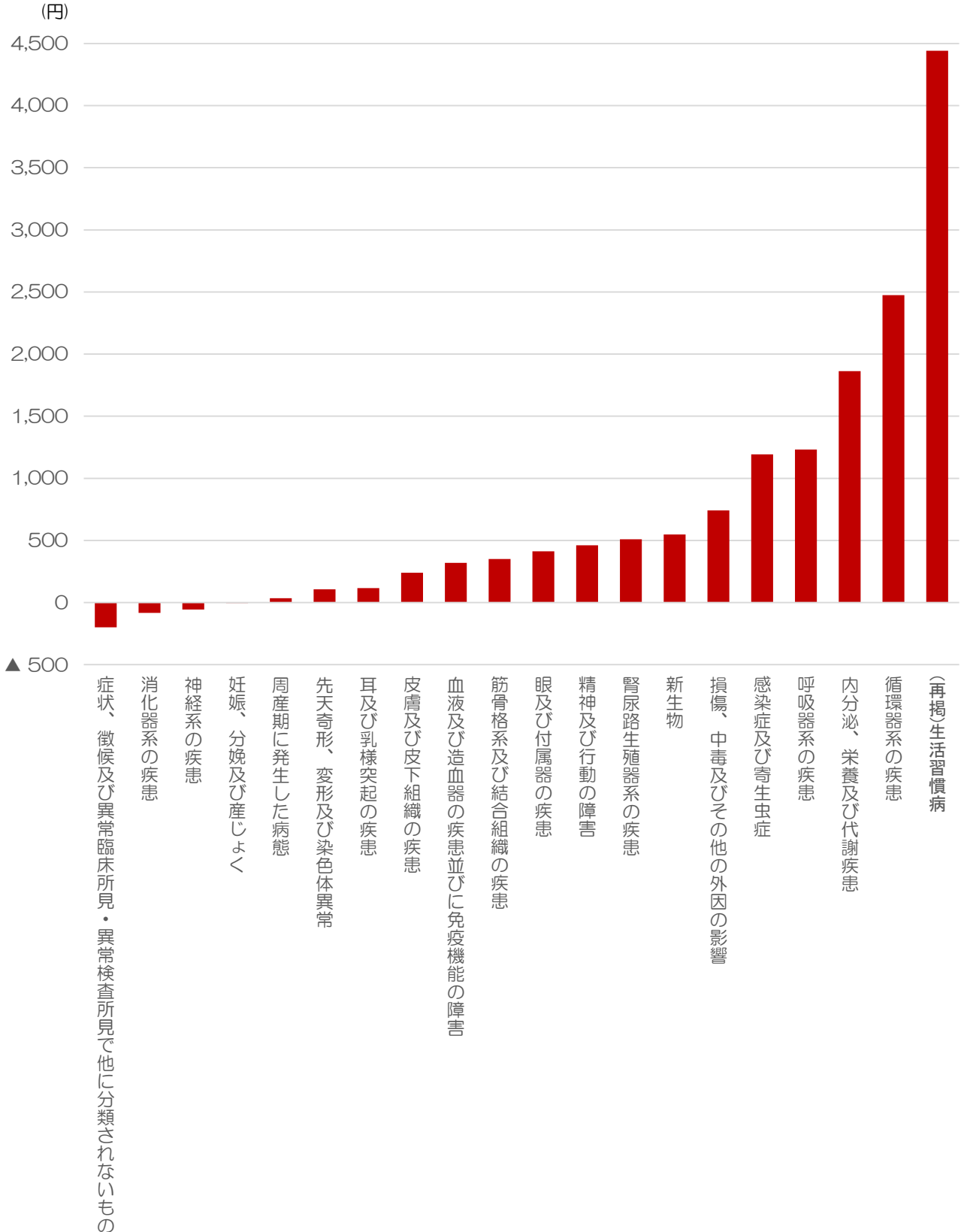
(再掲)生活習慣病は、内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、脂質異常症)、循環器系疾患(高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化(症)、その他の脳血管疾患)に該当するものを分類している。



# 佐賀支部の30年度疾病分類別入院外医療費 (全国平均との比較)

佐賀支部の30年度疾病分類別1人当たり入院外医療費の全国平均との差をみると、(再掲)生活習慣病が突出して高くなっており、全国平均と比較しても疾病分類別割合の高い「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」が高くなっています。(図19)(図20)

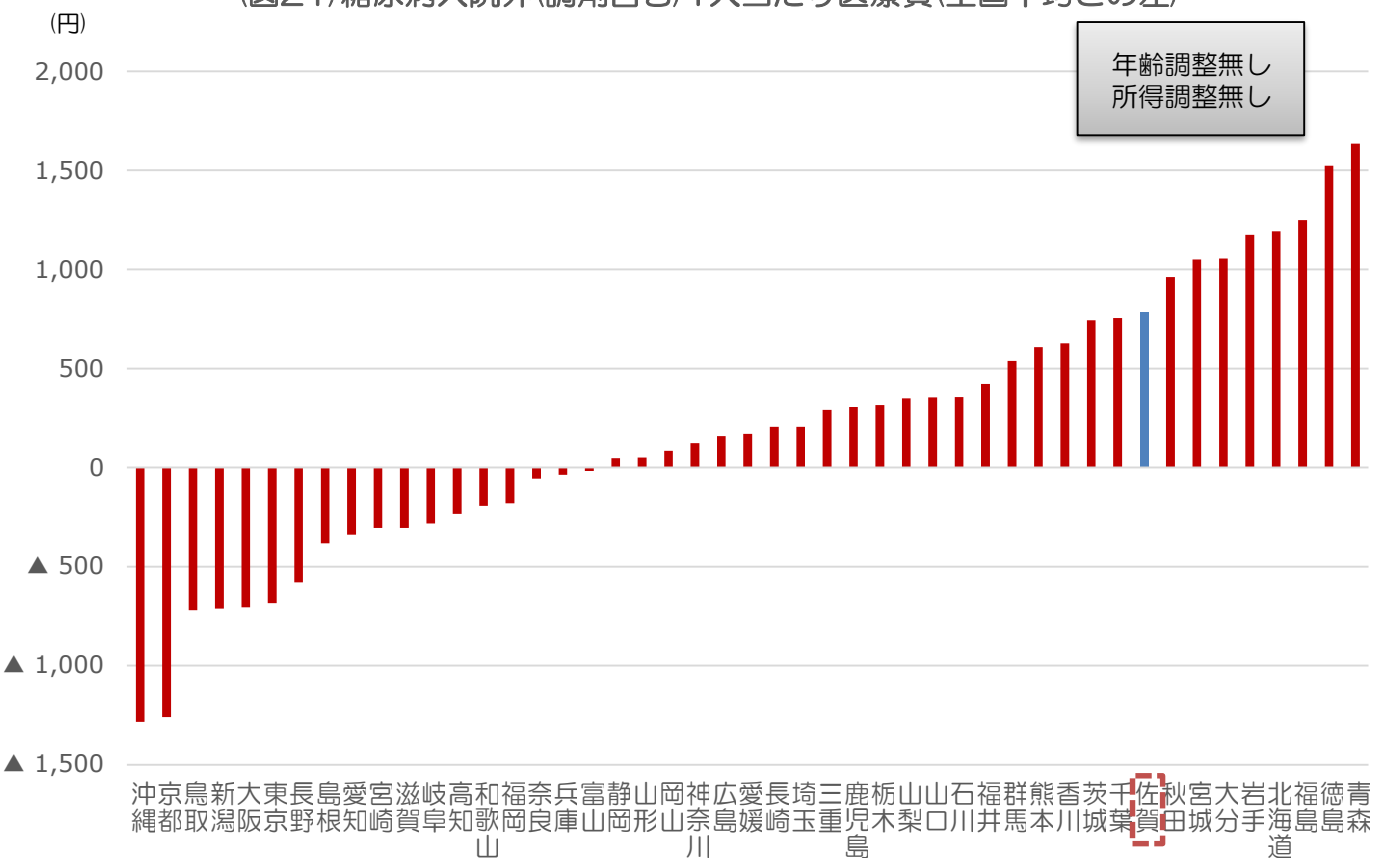
※算定ベースで算出。 (図20) 疾病分類別1人当たり入院外医療費(全国平均との差)



# 支部別の30年度「糖尿病」1人当たり入院外(調剤含む)医療費(全国平均との差)

佐賀支部の「糖尿病」1人当たり入院外医療費は全国平均の6,353円を785円上回り、全国で9番目の高さとなっています。1件当たり日数および、1日当たり医療費が全国で2番目の高さであることが影響しています。(図21)

(図21)糖尿病入院外(調剤含む)1人当たり医療費(全国平均との差)



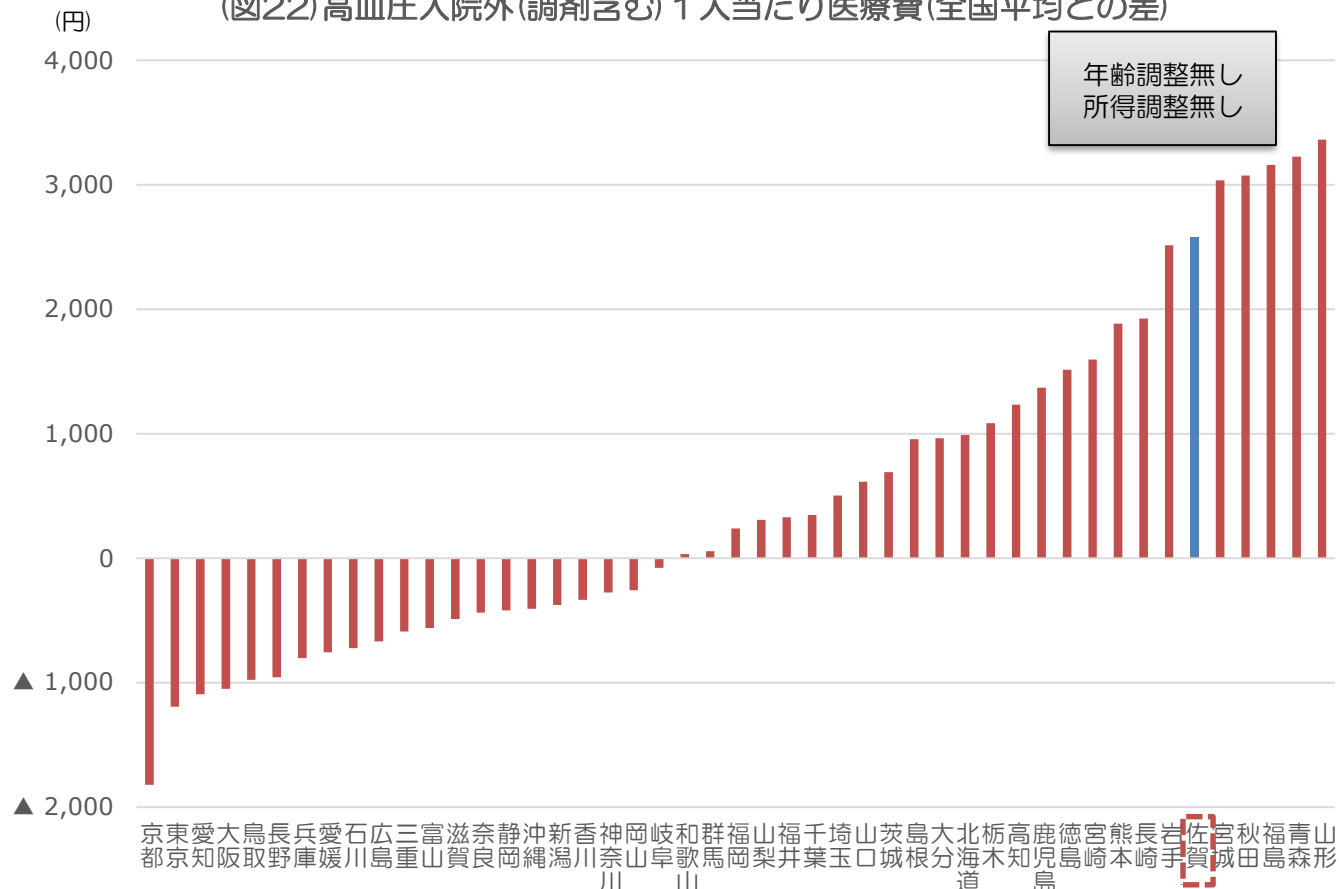
※算定ベースで算出。

糖尿病入院外(調剤含む) 受診率			糖尿病入院外(調剤含む) 1件当たり日数			糖尿病入院外(調剤含む) 1日当たり医療費		
1	青森	270.16	1	徳島	1.39日	1	徳島	26,976円
2	大分	254.64	2	佐賀	1.34日	2	佐賀	25,791円
3	徳島	252.95	3	兵庫	1.33日	3	兵庫	25,791円
4	福島	250.82	4	福井	1.33日	4	福井	25,522円
5	佐賀	248.35	5	京都	1.32日	5	京都	25,452円
6	岩手	246.89	6	大阪	1.32日	6	大阪	25,326円
7	宮城	245.38	7	和歌山	1.30日	7	和歌山	25,280円
8	熊本	240.57	8	岡山	1.30日	8	岡山	25,095円
9	鹿児島	237.49	9	三重	1.30日	9	三重	25,021円
10	北海道	233.06	10	山口	1.29日	10	山梨	24,997円
47	沖縄	155.08	47	北海道	1.20日	47	北海道	26,976円
	全国平均	210.09		全国平均	1.26日		全国平均	23,916円

# 支部別の30年度「高血圧」1人当たり入院外(調剤含む)医療費(全国平均との差)

佐賀支部の「高血圧」1人当たり入院外医療費は全国平均の9,022円を2,582円上回り、全国で6番目の高さとなっています。受診率が全国で7番目の高さであること、1件当たり日数が全国で2番目の高さであることが影響しています。(図22)

(図22) 高血圧入院外(調剤含む) 1人当たり医療費(全国平均との差)



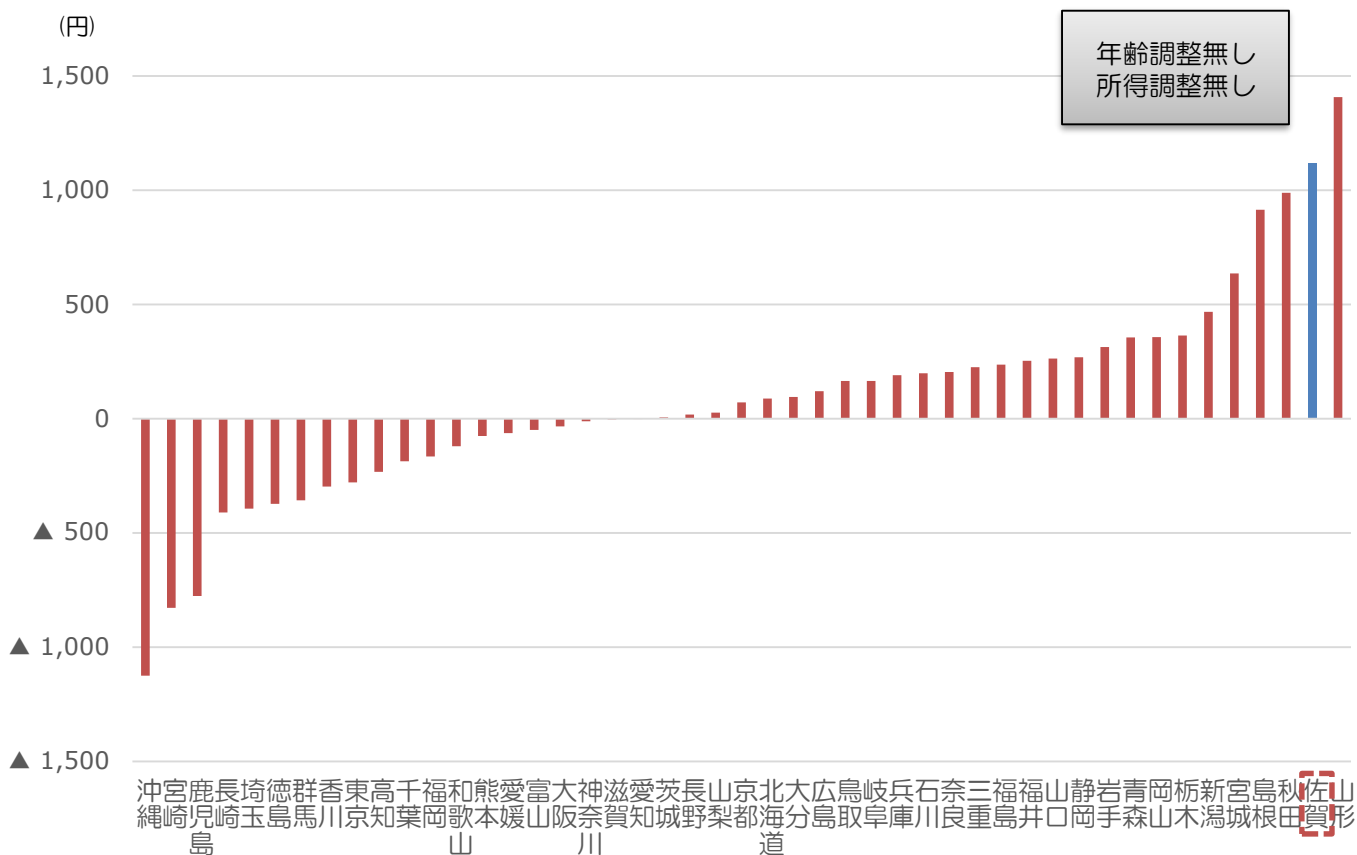
※算定ベースで算出。

高血圧入院外(調剤含む) 受診率			高血圧入院外(調剤含む) 1件当たり日数			高血圧入院外(調剤含む) 1日当たり医療費		
1	山形	838.87	1	徳島	1.30日	1	北海道	14,457円
2	青森	816.84	2	佐賀	1.30日	2	沖縄	13,877円
3	秋田	804.22	3	大阪	1.28日	3	神奈川	13,433円
4	福島	791.10	4	岡山	1.27日	4	岩手	13,421円
5	宮城	787.83	5	和歌山	1.26日	5	茨城	13,264円
6	岩手	741.22	6	広島	1.26日	6	高知	13,208円
7	佐賀	739.03	7	長崎	1.25日	7	埼玉	13,199円
8	長崎	733.02	8	福岡	1.25日	8	千葉	13,136円
9	熊本	728.76	9	京都	1.25日	9	東京	13,124円
10	鹿児島	727.57	10	熊本	1.24日	33	佐賀	12,104円
47	沖縄	531.85	47	新潟	1.15日	47	和歌山	10,683円
全国平均		588.56	全国平均		1.22日	全国平均		12,587円

支部別の30年度「高脂血症」1人当たり入院外(調剤含む)医療費(全国平均との差)

佐賀支部の「高脂血症」入院外1人当たり医療費は全国平均の2,835円を1,118円上回り、全国で2番目の高さとなっています。受診率が全国で2番目の高さであること、1件当たり日数が全国で3番目の高さであることが影響しています。(図23)

(図23) 高脂血症入院外(調剤含む) 1人当たり医療費全国平均との差



※算定ベースで算出。

高脂血症入院外(調剤含む) 受診率			高脂血症入院外(調剤含む) 1件当たり日数			高脂血症入院外(調剤含む) 1日当たり医療費		
1	山形	304.13	1	大阪	1.35日	1	沖縄	14,034円
2	佐賀	258.54	2	徳島	1.35日	2	北海道	13,675円
3	秋田	258.26	3	佐賀	1.32日	3	神奈川	13,047円
4	島根	253.09	4	広島	1.32日	4	茨城	13,010円
5	宮城	236.62	5	和歌山	1.31日	5	石川	12,877円
6	新潟	231.83	6	福岡	1.31日	6	高知	12,836円
7	栃木	211.91	7	兵庫	1.30日	7	香川	12,716円
8	岡山	211.12	8	岡山	1.30日	8	東京	12,685円
9	青森	232.89	9	京都	1.29日	9	千葉	12,643円
10	岩手	211.37	10	奈良	1.28日	36	佐賀	11,600円
47	沖縄	103.68	47	新潟	1.17日	47	沖縄	14,034円
全国平均			全国平均			全国平均		
186.17			1.26日			12,124円		

# 地域差指数の年齢階級別内訳(佐賀支部と新潟支部の比較)

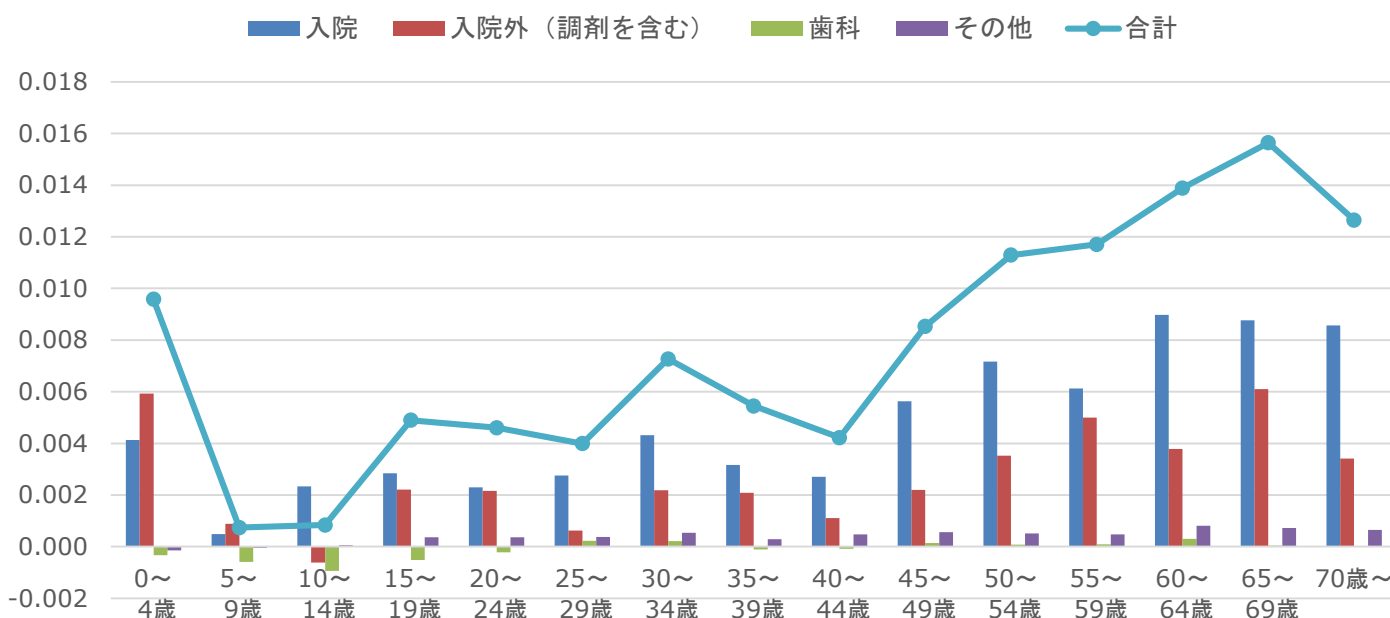
地域差指数…都道府県支部別1人当たり医療費は、各支部の年齢構成の違いの影響を受ける。  
この影響による医療費の格差を除去した指数のこと。

佐賀支部は地域差指数でも最も高くなっており、入院・入院外ともに高いことが地域差指数が高い要因となっています。入院はすべての年齢階級でプラスに寄与しており、特に60～64歳、65～69歳、70歳～で寄与が大きくなっています。また、入院外は10～14歳を除いてプラスに寄与しており、特に0～4歳、65～69歳で寄与が大きくなっています。(図24)

一方、保険料率が最も低い新潟支部は、5～9歳、10～14歳、15～19歳、25～29歳を除いて入院、入院外がともにマイナスに寄与しており、特に35歳以上の各年齢階級で寄与が大きくなっています。(図25)

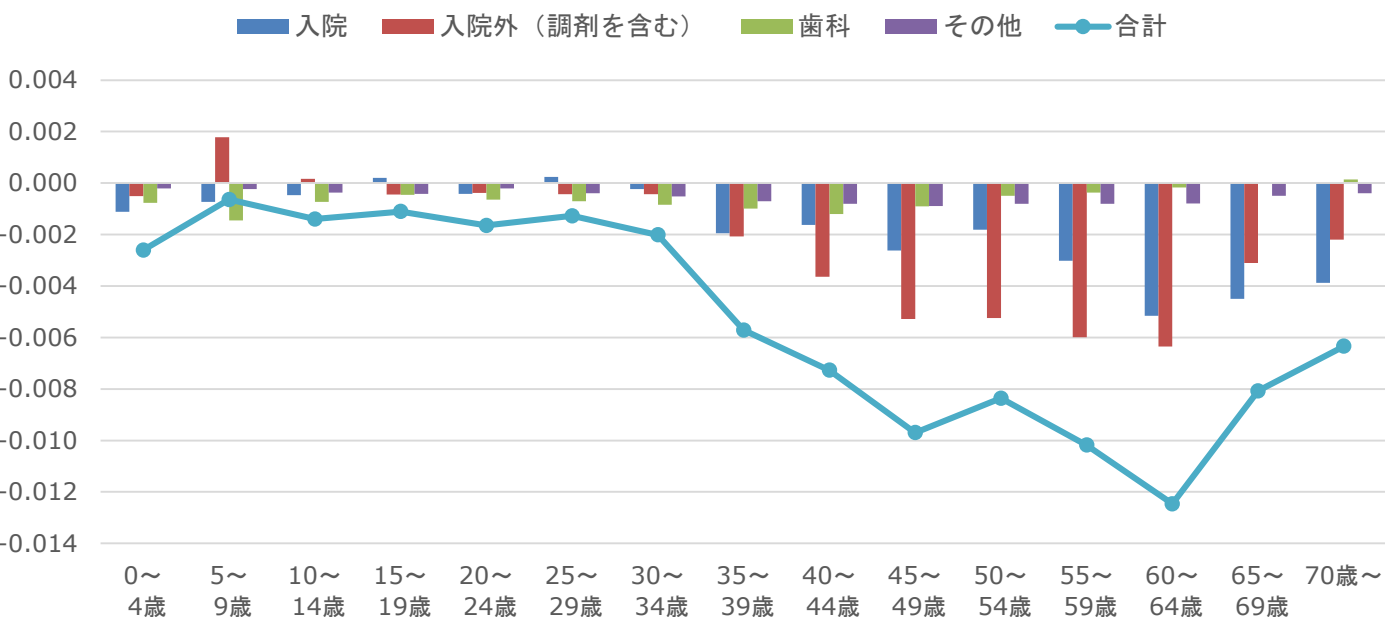
佐賀 (地域差指数-1=0.115)

(図24)地域差指数の年齢階級別内訳(佐賀支部)



新潟 (地域差指数-1=-0.079)

(図25)地域差指数の年齢階級別内訳(新潟支部)

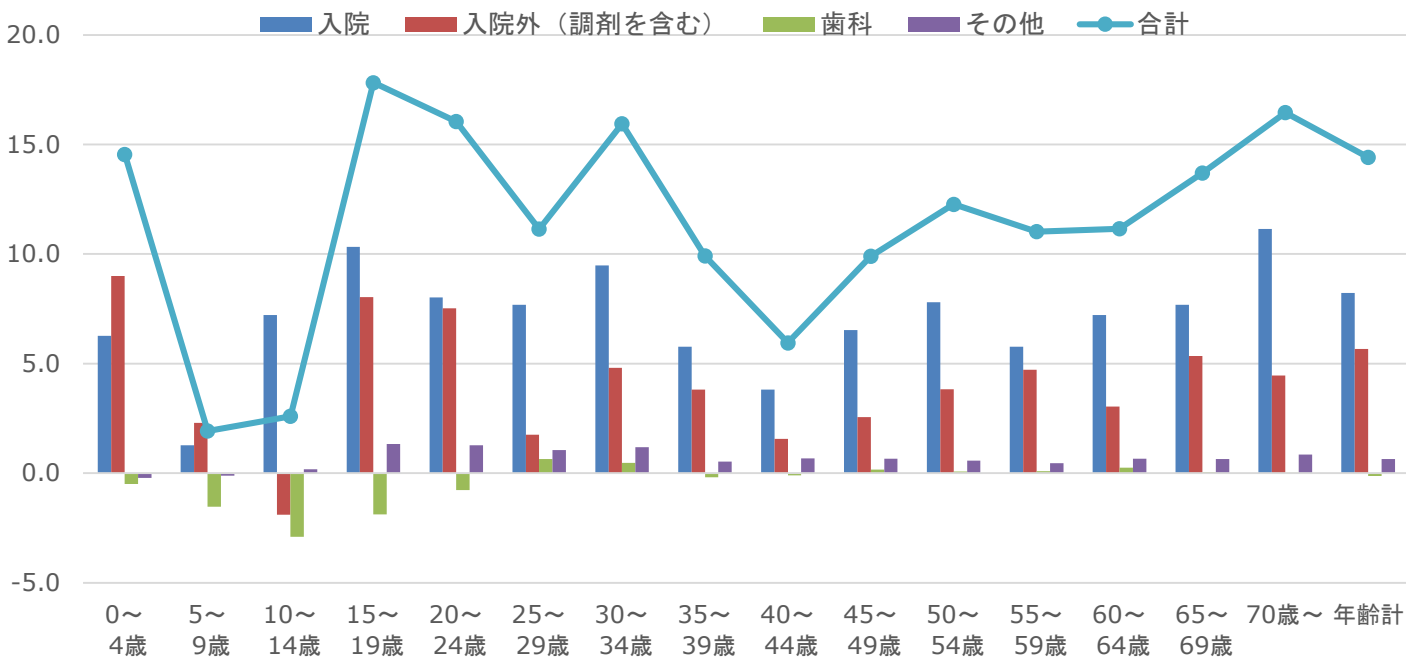


佐賀支部は、すべての年齢階級でプラスの乖離率となっており、特に15～19歳で乖離の幅が大きくなっています。(図26)

一方、新潟支部ではすべての年齢階級がマイナスの乖離率となっており、45～49歳で乖離の幅が最も大きくなっています。(図27)

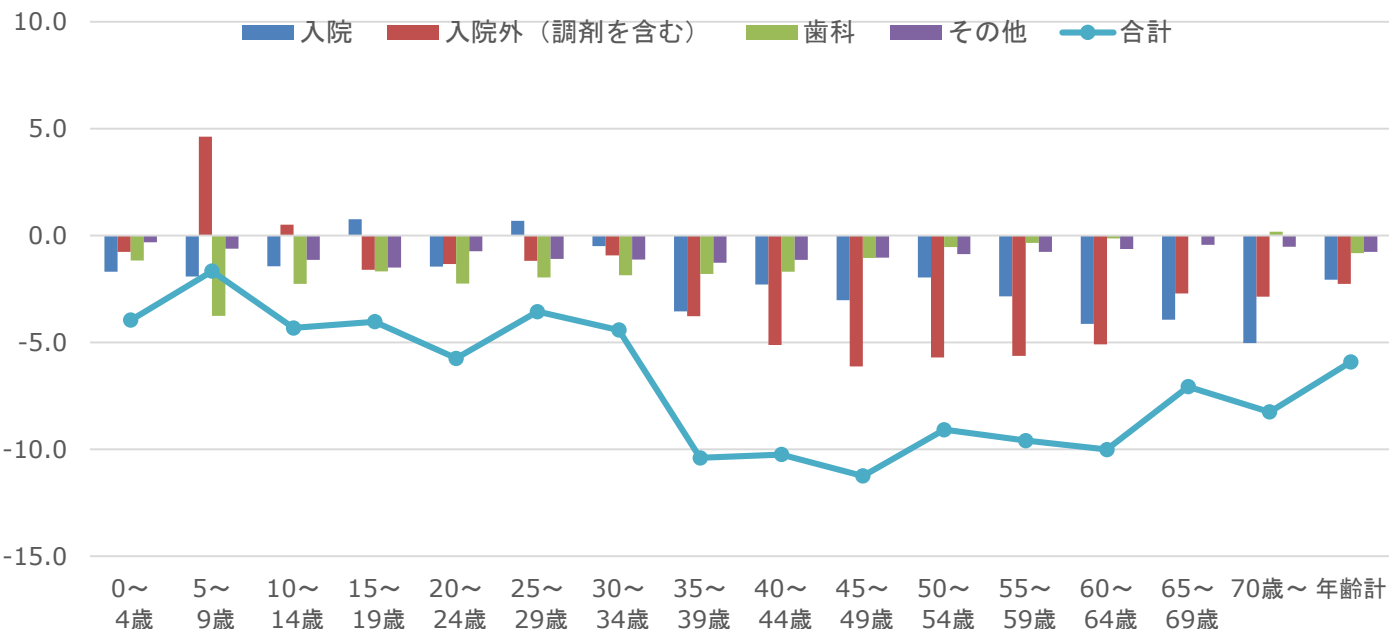
佐賀 (乖離率(年齢計):14.4%)

(図26)年齢階級別1人当たり医療費の全国平均との乖離率及び診療種別寄与度分解(佐賀支部)



新潟 (乖離率(年齢計):-5.9%)

(図27)年齢階級別1人当たり医療費の全国平均との乖離率及び診療種別寄与度分解(新潟支部)



※加入者数は全て年度平均加入者数である。

	被保険者数	被扶養者数	合計	扶養率
全国	23,656,081人	15,580,100人	39,236,181人	0.659
佐賀	173,770人	122,292人	296,062人	0.704

	男性	女性	合計
0～9歳	17,377人	16,326人	33,703人
10～19歳	19,291人	18,538人	37,830人
20～29歳	17,833人	18,935人	36,767人
30～39歳	21,199人	23,065人	44,264人
40～49歳	23,100人	26,250人	49,350人
50～59歳	20,137人	25,111人	45,248人
60～69歳	19,904人	21,156人	41,061人
70歳以上	3,679人	4,161人	7,840人
合計	142,519人	153,543人	296,062人

二次医療圏	市町	市町別加入者数	市町別加入者割合	二次医療圏別加入者数	二次医療圏別加入者割合
北部	唐津市	40,939人	16.3%	42619人	16.93%
	玄海町	1,680人	0.7%		
南部	武雄市	17,355人	6.9%	53975人	21.45%
	鹿島市	11,486人	4.6%		
	嬉野市	9,601人	3.8%		
	大町町	1,944人	0.8%		
	江北町	3,326人	1.3%		
	白石町	7,608人	3.0%		
	太良町	2,656人	1.1%		
東部	鳥栖市	12,332人	4.9%	22205人	8.82%
	基山町	2,369人	0.9%		
	上峰町	2,351人	0.9%		
	みやき町	5,153人	2.0%		
中部	佐賀市	69,640人	27.7%	106111人	42.16%
	多久市	7,030人	2.8%		
	小城市	16,823人	6.7%		
	神埼市	8,703人	3.5%		
	吉野ヶ里町	3,914人	1.6%		
西部	伊万里市	20,148人	8.0%	26766人	10.64%
	有田町	6,618人	2.6%		

二次医療圏

医療法の規定により都道府県において設定される区域（概ね広域市町村圏）  
で主として一般の入院医療を提供する病院の病床の整備を図るべき区域

# 市町別/二次医療圏別1人当たり医療費と3要素分解

市町別の医療費について、1人当たり医療費は高い順に、大町町、多久市、みやき町となっており、医療費の3要素からみると、上位三市町は1件当たりの日数が多いことが特徴です。

最も1人当たり医療費の高い大町町(231,241円)と最も低い基山町(191,617円)では39,570円の差があるなど、佐賀県内でも大きな開きが発生しています。

※算定ベースで算出。

二次医療圏	市区町村	1人当たり医療費	1人当たり件数	1件当たり日数	1日当たり医療費
北部	唐津市	201,598円	8.33件	1.72日	14,083円
	玄海町	216,455円	7.87件	1.76日	15,627円
南部	武雄市	203,831円	8.75件	1.74日	13,416円
	鹿島市	208,716円	8.77件	1.68日	14,200円
	嬉野市	220,982円	9.22件	1.74日	13,752円
	大町町	231,241円	8.81件	1.80日	14,605円
	江北町	194,996円	8.83件	1.76日	12,538円
	白石町	221,228円	8.81件	1.74日	14,401円
東部	太良町	196,534円	8.29件	1.67日	14,170円
	鳥栖市	201,173円	8.78件	1.79日	12,783円
	基山町	191,617円	8.97件	1.76日	12,172円
	上峰町	205,234円	8.88件	1.73日	13,372円
中部	みやき町	223,383円	9.22件	1.81日	13,377円
	佐賀市	208,122円	8.88件	1.76日	13,289円
	多久市	223,878円	9.08件	1.82日	13,565円
	小城市	218,351円	8.87件	1.78日	13,805円
	神埼市	197,348円	8.81件	1.73日	12,976円
西部	吉野ヶ里町	204,065円	8.74件	1.68日	13,884円
	伊万里市	199,592円	8.18件	1.71日	14,226円
	有田町	198,866円	8.58件	1.67日	13,853円

各指標において下位(悪い)3市町を色で表示し、上位(良い)3市町を色で表示

※算定ベースで算出。

二次医療圏	1人当たり医療費	1人当たり件数	一件当たり日数	一日当たり医療費
北部	202,184円	8.31件	1.72日	14,142円
南部	210,457円	8.83件	1.73日	13,803円
東部	205,738円	8.91件	1.79日	12,923円
中部	209,754円	8.88件	1.76日	13,386円
西部	199,412円	8.28件	1.70日	14,132円

各指標において最も悪い二次医療圏を色で表示し、最も良い二次医療圏を色で表示



## 医療提供体制(佐賀と全国との比較・全国順位)

佐賀県の医療提供体制を人口10万人対の数値で全国と比較をすると、病院数、病床数が全国でも上位(病院数・病床数が多い)であり、医師数も全国平均より多くなっています。

また、平均在院日数について全国で2番目に多いのが特徴です。

データ	年次	項目	単位	佐賀	全国	全国順位
医療施設調査	平成30年度 (H30.10.1現在)	病院数	(軒)	103	8,372	-
		人口10万人対 病院数	(軒/10万人)	12.6	6.6	6
		一般診療所数	(軒)	689	102,105	-
		人口10万人対 一般診療所数	(軒/10万人)	84.1	80.8	21
		病院病床数	(床)	14,743	1,546,554	-
		人口10万人対 病院病床数	(床/10万人)	1,800.1	1,223.1	7
		一般診療所 病床数	(床)	2,262	94,853	-
		人口10万人対 一般診療所病床数	(床/10万人)	276.2	75.0	4
		平均在院日数	(日)	40.8	27.8	2
医師・歯科医師・ 薬剤師調査	平成30年度 (H30.12.31現在)	医師数	(人)	2,383	327,210	-
		人口10万人対 医師数	(人/10万人)	291.0	258.8	14

### 病院

・・・医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所であって、患者20人以上の入院施設を有するもの

### 一般診療所

・・・医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所（歯科医業のみは除く）であって、患者の入院施設を有しないもの又は患者19人以下の入院施設を有するもの

## 市町別健診受診率の経年比較

市町別健診受診率を29年度・30年度から比較すると、20市町すべてが前年度より健診受診率は向上しています。

市町は佐賀支部加入者数(降順)で掲載

市町名	29年度 健診受診率	30年度 健診受診率	対前年度 伸び率
佐賀市	53.39%	56.35%	2.96%
唐津市	43.10%	44.24%	1.14%
伊万里市	64.67%	66.60%	1.93%
武雄市	49.41%	50.64%	1.22%
小城市	50.34%	55.64%	5.30%
鳥栖市	45.97%	51.02%	5.04%
鹿島市	65.75%	67.36%	1.61%
嬉野市	30.38%	31.78%	1.40%
神埼市	45.71%	52.37%	6.66%
白石町	32.54%	34.48%	1.94%
多久市	36.53%	40.91%	4.38%
有田町	69.23%	70.96%	1.73%
みやき町	55.94%	59.60%	3.65%
吉野ヶ里町	37.65%	42.69%	5.03%
江北町	41.28%	46.31%	5.03%
太良町	36.91%	37.37%	0.46%
基山町	59.21%	61.70%	2.50%
上峰町	54.55%	56.72%	2.18%
大町町	59.67%	60.45%	0.78%
玄海町	36.76%	38.85%	2.09%

各指標において下位(悪い)3市町を色で表示し、上位(良い)3市町を色で表示

# 佐賀支部加入事業所の業態別健診受診率の経年比較

佐賀支部加入事業所を42の業態に区分し、29年度と30年度を比較したものです。対前年度比がマイナスの伸びとなっている業態について色で表示しています。

業態名称は平成30年度被保険者数(降順)で掲載

業態名称	29年度			30年度			対前年度比 伸び率
	健診受診者数	被保険者数 (35-75歳)	健診受診率	健診受診者数	被保険者数 (35-75歳)	健診受診率	健診受診率
医療業・保健衛生	4,770	15,322	31.13%	5273	15768	33.44%	2.31%
社会保険・社会福祉・介護事業	6,803	12,966	52.47%	7482	13596	55.03%	2.56%
総合工事業	4,423	8,013	55.20%	4801	8069	59.50%	4.30%
飲食料品以外の小売業	4,034	7,226	55.83%	3844	6935	55.43%	-0.40%
食料品・たばこ製造業	4,196	7,119	58.94%	4202	6659	63.10%	4.16%
機械器具製造業	4,842	6,444	75.14%	5195	6585	78.89%	3.75%
道路貨物運送業	2,308	6,161	37.46%	2672	6261	42.68%	5.22%
公務	1,118	5,181	21.58%	1195	5369	22.26%	0.68%
卸売業	2,941	4,997	58.86%	3168	5002	63.33%	4.48%
飲食料品小売業	2,341	3,689	63.46%	2612	4016	65.04%	1.58%
職別工事業	1,406	3,704	37.96%	1553	3794	40.93%	2.97%
複合サービス業	3,022	3,392	89.09%	3032	3354	90.40%	1.31%
その他の運輸業	1,110	3,245	34.21%	1230	3240	37.96%	3.76%
専門・技術サービス業	1,641	3,042	53.94%	1773	3153	56.23%	2.29%
化学工業・同類似業	2,373	3,078	77.10%	2540	3083	82.39%	5.29%
設備工事業	1,287	2,538	50.71%	1386	2555	54.25%	3.54%
その他の対事業所サービス業	768	2,391	32.12%	969	2426	39.94%	7.82%
その他の製造業	1,432	1,981	72.29%	1462	1983	73.73%	1.44%
物品賃貸業	312	1,676	18.62%	420	1741	24.12%	5.51%
飲食店	539	1,657	32.53%	573	1669	34.33%	1.80%
教育・学習支援業	591	1,561	37.86%	627	1665	37.66%	-0.20%
修理業	735	1,559	47.15%	783	1589	49.28%	2.13%
廃棄物処理業	636	1,476	43.09%	753	1548	48.64%	5.55%
政治・経済・文化団体	1,098	1,525	72.00%	1164	1536	75.78%	3.78%
金属工業	1,094	1,437	76.13%	1103	1461	75.50%	-0.63%
金融・保険業	991	1,315	75.36%	980	1311	74.75%	-0.61%
対個人サービス業	565	1,232	45.86%	627	1279	49.02%	3.16%
繊維製品製造業	730	1,305	55.94%	759	1230	61.71%	5.77%
情報通信業	820	1,155	71.00%	916	1222	74.96%	3.96%
農林水産業	591	1,128	52.39%	657	1214	54.12%	1.72%
その他のサービス業	631	1,140	55.35%	656	1152	56.94%	1.59%
宿泊業	338	1,019	33.17%	345	1047	32.95%	-0.22%
印刷・同関連業	758	966	78.47%	792	981	80.73%	2.27%
不動産業	333	951	35.02%	358	972	36.83%	1.82%
娯楽業	620	886	69.98%	647	917	70.56%	0.58%
木製品・家具等製造業	492	828	59.42%	499	828	60.27%	0.85%
電気・ガス・熱供給・水道業	544	789	68.95%	588	805	73.04%	4.10%
職業紹介・労働者派遣業	166	528	31.44%	211	501	42.12%	10.68%
紙製品製造業	330	462	71.43%	328	455	72.09%	0.66%
鉱業・採石業・砂利採取業	132	384	34.38%	132	378	34.92%	0.55%
学術研究機関	106	365	29.04%	104	361	28.81%	-0.23%
無店舗小売業	106	260	40.77%	132	228	57.89%	17.13%

# 市町別ジェネリック医薬品使用割合（薬局所在地ベース）

佐賀支部加入者のジェネリック医薬品使用割合を薬局の所在地ベースで市町別にみると、ジェネリック医薬品の使用割合が高い順に玄海町、基山町、武雄市です。反対に使用割合の低い神崎市、鹿島市、太良町、は80%を下回っています。また、処方数が多く、影響度の高い佐賀市についてですが、佐賀支部全体のジェネリック使用割合の81.3%を若干下回る結果となっています。

※2019年12月レセプトより算出しており、同時期の佐賀支部全体のジェネリック使用割合は81.3%

市町は佐賀支部加入者数(降順)で掲載

市町名	ジェネリック割合	薬効別ジェネリック医薬品使用割合								
		中枢神経	循環器	呼吸器	消化器	外皮	ビタミン	血液_体液用薬	その他の代謝	アレルギー
佐賀市	81.20%	71.24%	85.30%	84.58%	88.52%	57.51%	97.57%	95.23%	81.71%	78.56%
唐津市	82.93%	74.24%	86.17%	92.42%	93.95%	46.26%	99.31%	96.77%	80.68%	83.23%
伊万里市	84.04%	75.46%	88.81%	90.99%	89.94%	61.98%	98.10%	98.05%	70.05%	87.67%
武雄市	88.98%	83.90%	93.33%	90.87%	92.03%	76.89%	99.17%	99.37%	83.69%	89.18%
小城市	82.44%	70.48%	83.84%	90.95%	88.89%	67.40%	99.05%	97.23%	71.32%	79.93%
鳥栖市	85.19%	76.68%	86.92%	94.08%	89.03%	69.51%	99.48%	92.59%	74.44%	87.45%
鹿島市	79.21%	77.25%	89.27%	58.71%	89.92%	50.01%	94.67%	98.80%	85.52%	65.97%
嬉野市	86.89%	83.34%	94.40%	91.37%	92.45%	62.12%	96.11%	97.97%	72.23%	73.24%
神崎市	76.64%	80.02%	85.78%	63.13%	91.82%	56.68%	96.84%	94.85%	73.98%	66.81%
白石町	88.52%	82.35%	88.72%	79.73%	96.17%	77.78%	98.35%	99.01%	83.19%	84.32%
多久市	85.40%	74.77%	92.47%	97.77%	92.47%	68.17%	100.00%	94.57%	84.50%	87.55%
有田町	86.58%	73.39%	91.60%	95.87%	94.15%	67.42%	100.00%	97.24%	85.18%	82.79%
みやき町	80.46%	60.07%	91.01%	94.50%	91.48%	42.28%	100.00%	94.13%	89.60%	81.05%
吉野ヶ里町	83.61%	77.73%	88.94%	90.78%	88.89%	63.96%	97.36%	99.79%	93.00%	82.50%
江北町	85.77%	58.76%	80.66%	99.38%	97.87%	51.52%	100.00%	100.00%	80.50%	76.94%
太良町	79.52%	73.63%	88.04%	92.81%	86.61%	58.20%	100.00%	100.00%	66.04%	61.27%
基山町	90.00%	82.83%	88.84%	97.73%	96.83%	70.43%	100.00%	98.89%	82.36%	82.76%
上峰町	85.93%	72.99%	80.67%	98.09%	91.98%	52.15%	90.08%	95.45%	78.32%	71.18%
大町町	88.30%	66.70%	91.21%	91.77%	95.12%	70.88%	100.00%	96.34%	94.51%	96.58%
玄海町	93.72%	86.09%	97.95%	96.31%	99.89%	24.14%	100.00%	100.00%	92.52%	100.00%

各指標において下位(悪い)3市町を色で表示し、上位(良い)3市町を色で表示

- 佐賀支部の1人当たり医療費は30年度においても全国一高い。
- 佐賀支部の30年度の総医療費の伸び率は、対前年度比で+1.07%増加しており、協会全体の総医療費の伸び率は+3.02%と全体の伸び率と比較すると下回っている。
- 21年度以降の佐賀支部の1人当たり医療費は増加傾向であり、全国平均との差は年々拡大し30年度においては、26,102円の差が生じた。
- 佐賀支部の1人当たり入院外医療費について、対前年度より2,311円増加しており、協会けんぽ全体の対前年度比1,370円と比較して乖離幅が広がっている。
- 1人当たり入院医療費は全国1位、1人当たり入院外医療費は全国2位となっており、入院・入院外ともに全国平均との差は大きく、受診率の高さに加えて、1件当たり日数が多いことも影響している。
- 1人当たり入院医療費は全国1高く、全国平均より約15,000円高く、1.3倍の乖離幅があり、その要因は受診率が全国1高く、全国平均と1.3倍乖離していることにある。
- 入院医療費においては男女ともに年齢が高くなるにつれ、全国平均より高くなる傾向にあり、特に70歳～の入院医療費は突出して高くなっている。
- すべての疾病分類において入院・入院外ともに全国平均を上回っており、新生物での全国平均との差が大きくなっている。